GHQ/SCAP Records(RG 331)
Description of contents

THE NATIONAL ARCHIVES OF THE UNITED STATES

(1) Box no. 2091

(2) Folder title/number: (5)
Zaibatsu Controls - Examination Committee Report
- No. 26, Folder 1 of 2

(3) Date: Jan. 1948 - May 1948

(4) Subject:

Classification	Type of record
540	c

(5) Item description and comment:

(6) Reproduction: (Yes) No

(7) Film no. Sheet no.

ZAIBATSU CONTROLS

EXAMINATION COMMITTEE REPORT NO. 26

ADACHI Kichihei - see Rpt #28
AOKI Torao
ASADA Yukichi
HAMAKAWA Tomojuro
KASUGA Hyajiro
KITAMURA Eikichi
MATSUMOTO Hajime
MITA Toshio
MOHR Bernhard
MORIYA Gakuji
NAGATA Shizuka
NAKAMIGAWA Tetsushiro - see Rpt #28
NATORI Wasaku
OSUMI Tatsuo
SHIINA Kosuke
SHIMOMURA Yaichi
TANAKA Yojiro
TERAMOTO Yuzo
TOMINARI Miyakichi
WADA Tsunesuke - see Rpt #29

APPROVED Aug. 17 1948
承認 昭和23年8月17日

受 23.5.15 付

393 野村系

Misao Ueda

NAME TORAO AOKI

No. Name of Company NOMURA MINING CO.

個人調査書

（記載上の一般的注意）

一、本調査書は、三通提出しなければならない。

二、調査書は、日本文及び英文で記入する。その場合、英文記載事項は對應頁の日本文に照應するものとする。日英兩文間に相違がある場合は、英文によるものとする。

三、記載事項は、楷書（英文の場合は大文字活字體）で明瞭に記入しなければならない。

四、各記載事項は、空白のまゝにしないよう正確に且つ良心的に記入しなければならない。

五、各記載事項中該當事項のない場合は「該當しない」又は「該當事項なし」等の文句を用いて記入しなければならない。

六、記載すべき空欄に充分の餘白がない場合は、補助紙を用い、「補助紙に續く」等の字句を記入して、いずれの記載欄の補助紙として用いたかを明かにしなければならない。

七、この調査表の重要な事項について虚僞の記載をし又は事實をかくした記載をした者は、財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられる。

野村鉱業 會社 第 號

氏名 青木寅雄

個人調査書

一、姓名（振假名をつけること）

青木貢雄

二、從來使用し又は一般に通用している他の名稱（通稱、筆名等）

ナシ

三、生年月日（年齡數え年）

明治參拾五年九月貳拾五日（四十七才）

四、出生地（都道府縣）

東京都

五、現住所（略記しないこと）及び電話番號

北海道北見國常呂郡留邊蘂町字常呂下町

六、本籍地（略記しないこと）

東京都台東區坂本壹丁目拾四番地壹

Questionnaire

1. Name (In full).

TORAO AOKI

2. Other names which you have used or by which you have been known. (alias or penname).

NONE

3. Date of birtn (age).

SEPT. 25 1902 (AGE 47)

4. Place of birth (prefecture).

TOKYO

5. Present address (in full) and telephone number.

MIYASHITA-CHO , KUBESHIBE-CHO , TOKORO-GUN

6. Permanent address (in full). KITAMINO-KUNI , HOKKAIDO

NO , 14 SAKAMOTO 1-CHOME , DAITOKU , TOKYO

七、現に保有し又は就こうとする財閥、制限、従屬又は關係會社における役員としての地位

（一）會社の名稱及び財閥系統（昭和二十年九月二日以降稱號變更があつた場合は舊稱號を含む）

野村證券株式會社　野村財閥系

（二）財閥會社、制限會社、従屬會社又は關係會社の區分（財閥會社の場合には更に直系、準直系又は傍系の區分）

財閥會社（傍系）　従屬會社

（三）地位

社長　代表取締役

（四）就任の豫定日

該當事項ナシ

八、前項の他本人の保有するすべての身分及び職業

ナシ

九、財閥としての指定者との親族關係

（一）關係の有無及び有りとすればその詳細（財閥同籍者との親族關係を含む。）

ナシ

（二）指定者か指定された日において指定者と同一戸籍内にあつたことの有無

ナシ

7. Position of official in company which you hold or for which you are under consideration.

a. Name of company and the lineage of Zaibatsu where the company belongs. (In case name of the company has been changed after 2 September 1945 the former name will also be given.)

THE NOMURA KOGYO KABUSHIKI KAISHA
(NOMURA MINING CO., INC.)
NOMURA ZAIBATSU

b. Classification of Zaibatsu, restricted, subsidiary or connected company (in the case of Zaibatsu company, the classification of the direct affiliate, indirect affiliate or associate company will also be given.)

ZAIBATSU COMPANY (ASSOCIATE)

SUBSIDIARY

c. Position.

PRESIDENT

REPRESENTATIVE DIRECTOR

d. Scheduled date of assumption of the position.

NONE

8. All other positions snd professions which you hold now.

NONE

9. Family relationship with the persons designated as Zaibatsu.

a. Existence or not of the relationship and its details, if any. (includiug relationship with the Zaibatsu family members.)

NONE

b. Whether or not you were on the same family register with the designated persons on the day of their designation.

NONE

七、職業の履歴

註一、本欄の會社團體とは財閥會社に限らずあらゆる會社團體を含むものとし、團體中特に組合、協會、協議會等の經濟團體については詳細に記入すること

註二、職務内容に關し本人の地位から當然豫想せられる職務を事實上擔當していなかつた場合には本人が實際に擔當していた職務内容及びに代わり當該地位の管轄たるべき職務を事實上擔當していた者の氏名を記入すること

註三、本人が役員として又は役員の待遇の地位にて勤務した會社が財閥會社たる場合には、左の事項を附記すること

(1)本人の役員としての就任及び退任の時における當該會社の株式の一割以上の所有者の氏名及び持株率

(2)本人が勤務した期間における他の役員の氏名、地位及び就任退任年月日

就職及び退職日附	會社團體等の名稱	地位（職員たる場合を含む）	職務内容（詳細に）	會社團體等の事業内容及び所在地
自昭和 年 月 至 〃 年 月	野村合名會社	監査課員	普通職員	持株、大阪
〃 年 月 〃 年 月	〃	監査課長代理	監査勞務事項ノ處理	〃
〃 年 月 〃 年 月	〃	監査課長	〃	〃
〃 年 月 〃 年 月	東京事務所	大阪本社トノ連絡	〃	〃

自昭和[illegible] 至 ″ [illegible]	野村鑛業株式會社	取締役兼支配人	總經營管理	金屬鑛業 東京
″ [illegible] ″ [illegible]	″	常務取締役	經營管理	″
″ [illegible] ″ [illegible]	″	專務取締役	經營管理	″
″ [illegible] ″ 現在	″	社長 代表取締役	最高經營	″
″ [illegible]	ヌベルカレドニヤ鑛業株式會社	取締役	經營管理 非常勤 取締役會ニ出席シタルコトナシ	ニユーカレドニヤヨリノ鐵鑛石ノ輸入販賣 東京
″ [illegible] ″ [illegible]	野村東印度殖産株式會社	監査役	經理監査 非常勤 取締役會ニ出席シタルコトナシ	南洋諸島ニ於ケル產業開發 東京
″ [illegible] ″ [illegible]	野村建設工業株式會社	取締役	經理監査 非常勤 取締役會ニ出席シタルコトナシ	不動產所有及土木建築 大阪

10. Chronological record of profession and employment.

Note 1: "Organization or company" mentioned in this column include any organization or company other than Zaibatsu company. With reference to organizations, relationship with economic organizations such as union, association or conference etc. will particularly be given in detail.

Note 2: In case you did not, in fact, handle duties for which you have been authorized, duties and powers which you actually handled and name of the person who dealt with duties originally authorized for you will be given.

Note 3: With reference to the Zaibatsu company where you served as official or as a person accorded with the status of official, the following entries are additionally required.

a. Name and stock-holding percentage of stock-holders owning 10 per cent or more of the total stock of the company at the time of your assumption of office and retirement.

b. Name, position and dates of appointment and retirement of other officials of the company during the period when you served.

Dates of employment and retirement.	Name of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.

一、野村鑛業株式會社

(1) 就退任時ニ於ケル大株主氏名及持株率

氏名	就任時	退任時
野村 德七	三五%	退職中ニ付
野村 義太郎	一五%	該當事項ナシ
野村 元五郎	一二%五	
野村 惠二	一五%	

(2) 他役員ノ地位、就退任年月日

氏名	地位	就任時	退任時
山内 貢	取締役社長	昭和十四年四月五日	昭和二十年十一月二九日
熊田 克郎	同右	〃 二十年十一月二九日	現在ニ至ル 昭和二十三年四月二日
〃	專務取締役	〃 十七年九月十日	昭和二十年十一月二九日
〃	常務取締役	〃 十四年四月五日	〃 十七年九月十日
松本 彬	同右	〃 十八年四月一日	〃 二十年十一月二九日
野村 義太郎	取締役	〃 十四年四月五日	〃 二十年八月二四日
文屋 幸一	取締役	昭和十四年四月五日	昭和十八年四月一日
野口 富藏	同右	〃 十六年六月二七日	〃 二十年十一月二九日
細田 秀造	同右	〃 十八年四月一日	〃 十九年六月三十日
原 邦道	同右	〃 二十年五月三十日	〃 二十年十一月二九日
矢島 澄策	同右	〃 二十年十一月二九日	現在ニ至ル
西村 進	同右	〃 二十年十一月二九日	〃
吉村孝治郎	同右	〃 二二年十一月二九日	〃
松本 彬	常任監査役	〃 二十年十一月二九日	昭和二二年十一月二九日
野村 惠二	監査役	〃 十四年四月五日	〃 二十年十一月二九日
野口 富藏	同右	〃 十四年四月五日	〃 十六年六月二七日
堤 一之	同右	〃 十六年六月二七日	〃 二十年十一月二九日
文屋 幸一	同右	〃 十八年四月一日	〃 二十年十一月二九日
松本 彬	同右	〃 二二年十一月二九日	現在ニ至ル

一、野村鐵業株式會社

(1) 就退任時ニ於ケル大株主氏名及持株率

氏名	就任時	退任時	摘要
野村 徳七	三五%	非職中ニ付	
野村 義太郎	一五%		該當事項ナシ
野村 元五郎	一二・五		
野村 愚二	一五%		

(2) 他役員ノ地位、就退任年月日

氏名	地位	就任時	退任時
山内 貢	取締役社長	昭和十四年四月五日	昭和二十年十一月二九日
熊田 克郎	同右	〃 二十年十一月二九日	現在ニ至ル
〃	專務取締役	〃 十七年九月十日	昭和二十年十一月二九日
〃	常務取締役	十四年四月五日	〃 十七年九月十日
松本 彫	同右	〃 十八年四月一日	〃 二十年十一月二九日
野村 義太郎	取締役	十四年四月五日	〃 二十年八月二四日
文屋 幸一	取締役	昭和十四年四月五日	昭和十八年四月一日
野口 富藏	同右	〃 十六年六月二七日	〃 二十年十一月二九日
細田 秀造	同右	〃 十八年四月一日	〃 十九年六月三十日
原 弗道	同右	〃 二十年五月三十日	〃 二十年十一月二九日
矢島 澄策	同右	〃 二十年十一月二九日	現在ニ至ル
西村 進	同右	〃 二十年十一月二九日	〃
吉村孝治郎	同右	〃 二十三年十一月二九日	〃
松本 彫	常任監査役	〃 二十年十一月二九日	昭和二十三年十一月二九日
野村 愚二	監査役	十四年四月五日	〃 二十年十一月二九日
野口 富藏	同右	十四年四月五日	〃 十六年六月二七日
堤 一之	同右	十六年六月二七日	〃 二十年十一月二九日
文屋 幸一	同右	十八年四月一日	〃 二十年十一月二九日
松本 彫	同右	〃 二十三年十一月二九日	現在ニ至ル

(1) 就退任時ニ於ケル大株主氏名及持株率

氏名	就任時	退任時
野村徳七	四一%三	野村文英 四一%三
野村恵二	一五%二	野村恵二 一五%二
野村合名	二三%三	野村合名 二三%三

(2) 他役員ノ地位、就退任年月日

氏名	地位	就任時	退任時
野村義太郎	取締役會長	昭和十九年四月十五日	昭和二十年六月二八日
山内貢	取締役社長	同右	〃二一年九月五日
野村康三	取締役副社長	同右	二十年十一月三〇日
一之瀬一之	專務取締役	同右	二十年十月二五日
三竹勇馬	同右	同右	二一年十二月十日
設田人	常務取締役	同右	二一年九月五日
木正武	常務取締役	昭和二十年六月二六日	昭和二一年十二月十日
末村義吉	同右	同右	同右
福田喜代治	同右	同右	同右
鈴木正武	取締役	昭和十九年四月十五日	昭和二十年六月二八日
末村義吉	同右	同右	同右
福田喜代治	同右	同右	同右
福田克郎	同右	同右	昭和二十年十月二五日
林昌夫	同右	同右	同右
原邦道	同右	昭和二十年六月二八日	同右
川端康彦	同右	同十九年四月十五日	昭和二一年九月五日
文屋幸一	同右	同右	同二十年十月二五日
森田歳一	同右	同右	同十九年十月九日
野村元五郎	監査役	同右	同二十年十月二五日
野村惠三	同右	同右	同右
野口富蔵	同右	同右	同右
森田歳一	同右	昭和十九年十月九日	昭和二一年九月五日
野村徳七	同右	同十九年十月十五日	同二十年一月十五日
野村義太郎	同右	同十九年四月二八日	同二十年八月二四日
佐藤市郎	同右	同十九年五月五日	同二十年十月六日
井關隆昌	同右	同十九年四月二十日	同二一年一月三十日

(1) 就退任時ニ於ケル大株主氏名及持株率

就任時			退任時		
野村徳七	四一、三	野村	野村文英	四一、三	野村
野村愚二	一五、二	野村	野村惠二	一五、二	野村
野村合名	二三、三	野村	野村合名	二三、三	野村

(2) 他役員ノ地位、就退任年月日

氏名	地位	就任時	退任時
野村義太郎	取締役會長	昭和十九年四月十五日	昭和二十年六月二八日
山内貢	取締役社長	同右	〃 二一年九月五日
野村康三	取締役副社長	同右	〃 二十年十一月三〇日
堤一之	專務取締役	同右	〃 二十年十月二五日
三竹勇馬	同右	同右	〃 二一年十二月十日
阪田人	常務取締役	同右	〃 二一年九月五日
鈴木正武	常務取締役	昭和二十年六月二六日	昭和二一年十二月十日
木村義吉	同右	同右	同右
植田喜代治	同右	同右	同右
鈴木正武	取締役	昭和十九年四月十五日	昭和二十年六月二八日
木村義吉	同右	同右	同右
植田喜代治	同右	同右	同右
熊田克郎	同右	同右	同右
林昌夫	同右	同右	昭和二十年十月二五日
原邦道	同右	同右	同右
川端康彦	同右	昭和二十年六月二八日	昭和二一年九月五日
文屋幸一	同右	同右	同右
森田巖一	同右	同右	同右
野村義太郎	監査役	同右	同右
野村惠三	同右	同右	同右
野口嘉祐	同右	同右	同右
森田巖一	同右	昭和十九年十月九日	昭和二一年九月五日
野村德七	同右	同右	同 二十年一月十五日
野村義太郎	同右	同右	同 二十年八月二四日
佐藤市郎	同右	同右	同 二十年十月六日
井關隆昌	同右	同右	同 二一年一月三十日

一、野村總設工業株式會社

(1) 就退任時ニ於ケル大株主及持株数

就任時			退任時		
野村合名	四〇%		野村合名	四〇%	
野村生命	四五%		野村生命	四五%	
野村銀行	一二%五		野村銀行	一二%五	

(2) 他役員ノ地位、就退任年月日

氏名	地位	就任時	退任時
安井武雄	取締役社長	昭和二十年八月三一日	昭和二一年五月二一日
林昌夫	常務取締役	同 二十年十二月二二日	同
岡田武雄	取締役	同 二一年六月二四日	同
原邦道	同	同 二十年十二月十日	同
山内貢	同	同	同
田清三	同	同	同
熊田克郎	同	同	同
右近又雄	取締役	同	昭和二十年十二月十日
平井治一	同	同	同 二一年十二月二一日
佐藤滋恭	同	同	同 二三年一月七日
藤井謙三	同	同	昭和二一年十二月二一日
高橋卯生	同	同	同
野村憲二	監査役	同	昭和二十年十二月十日
橋本哲	同	同	同
野口富藏	同	同	同
文屋幸一	同	同	同
寺本雄造	同	同	同

I THE NOMURA KOGYO K. K. (nomura minig co. Ltd)

(A) NAME AND STOCK-HOLDING PERCENTAGE

AT THE TIME OF ASSUMPTION

TOKUSHICHI	NOMURA	35%
YOSHITARO	NOMURA	15%
MOTOGORO	NOMURA	12.5
KEIJI	NOMURA	15%

PRESENT ON POSITION

(B) NAME, POSITION AND DATE OF APPOINTMENT AND RETIREMENT OF OTHER OFFICIALS

POSITION	NAME	DATE OF EMPLOYMENT	DATE OF RETIREMENT
PRESIDENT	MITSUGU YAMANOUCHI	5 APRIL 1939	29 NOV. 1945
"	YOSHIRO KUMADA	29 NOV. 1945	7 JAN. 1948
MANAGING DIRECTOR	YOSHIRO KUMADA	10 SEPT. 1942	29 NOV. 1945
STANDING DIRECTOR	YOSKIRO KUMADA	5 APRIL 1939	10 SEPT. 1942
"	AKIRA MATSUMOTO	1 APRIL 1943	29 NOV. 1945
DIRECTOR	YOSHITARO NOMURA	5 APRIL 1939	24 AUG. 1945
"	KOICHI BUNYA	5 APRIL 1939	1 APRIL 1943
"	TOMIZO NOGUCHI	27 JUNE 1941	29 NOV. 1945
"	SHUZO HOSODA	1 APRIL 1943	30 JUNE 1944
"	KUNIMICHI HARA	30 MAY 1945	29 NOV. 1945
"	SUMISAKU YAJIMA	29 NOV. 1945	7 JAN. 194
"	SUSUMU NISHIMURA	29 NOV. 1945	PRESENT
"	KOJIRO YOSHIMURA	29 NOV. 1947	PRESENT
STANDING AUDITOR	AKIRA MATSUMOTO	29 NOV. 1945	29 NOV. 1947
AUDITOR	KEIJI NOMURA	5 APRIL 1939	29 NOV. 1945
"	TOMIZO NOGUCHI	5 APRIL 1939	27 JUNE 1941
"	KAZUYUKI TSUTSUMI	27 JUNE 1941	29 NOV. 1945
"	KOICHI BUNYA	1 APRIL 1943	29 NOV. 1945
"	AKIRA MATSUMOTO	29 NOV. 1947	7 JAN. 1948
			PRESENT

II THE NOMURA TOHNDO CHOKUSAI BAISHIKI KAISHA

(THE NOMURA EAST INDIES CULTIVATION CO., INC.)

(A) AT THE TIME TIME OF ASSUMPTION

TOKUSHICHI	NOMURA	41/63
KEIJI	NOMURA	15/62
THE NOMURA COMPANY		23/63

AT THE TIME OF RETIREMENT

FUMIHIDE	NOMURA	41/63
KEIJI	NOMURA	15/62
THE NOMURA COMPANY		23/63

(B) NAME , POSITION AND DATE OF APPOINTMENT AND RETIREMENT OF OTHER OFFICIALS

POSITION	N A M E	DATE OF EMPLOYMENT	DATE OF RETIREMENT
HEAD OF THE BOARD OF DIRECTORS PRESIDENT	YOSHITARO NOMURA	15 APRIL 1944	28 JUNE 1945
	MITSUGU YAMAGUCHI	"	5 SEPT 1946
VICEPRESIDENTKOZO	NOMURA	"	30 NOV. 1946
MANAGING DIRECTOR	KAZUYUKI TSUTSUMI	"	25 OCT. 1945
"	YUMA MITAKE	"	10 DEC. 1946
STANDING DIRECTOR	YASUTO SAKATA	"	5 SEPT 1946
"	MASATAKE SUSUKI	26 JUNE 1945	10 DEC. 1946
"	YOSHIKICHI KIMURA	"	"
"	KIYOJI UEDA	"	"
DIRECTOR	MASATAKE SUSUKI	15 APRIL 1944	28 JUNE 1945
"	YOSHIKICHI KIMURA	"	"
"	KIYOJI UEDA	"	"
"	YOSHIKO KUMADA	"	25 OCT. 1945
"	HARUO HAYASHI	"	"
"	KUNIMICHI HARA	28 JUNE 1945	"
DIRECTOR	YASUHIKO KAWABATA	15 APRIL 1944	5 SEPT 1946
"	KOICHI BUNYA	"	25 OCT. 1945
"	SAIICHI MORITA	"	9 OCT. 1944
AUDITOR	MOTOGORO NOMURA	15 APRIL 1944	25 OCT. 1945
"	KEIJI NOMURA	"	"

(B) NAME, POSITION AND DATE OF APPOINTMENT AND RETIREMENT OF OTHER OFFICIALS

POSITION	NAME	DATE OF EMPLOYMENT	DATE OF RETIREMENT
HEAD OF THE BOARD OF DIRECTORS	YOSHITARO NOMURA	15 APRIL 1944	28 JUNE 1945
PRESIDENT	MITSUGU YAMAGUCHI	"	5 SEPT 1946
VICEPRESIDENT	HOZO NOMURA	"	30 NOV. 1945
MANAGING DIRECTOR	KAZUYUKI TSUTSUMI	"	25 OCT. 1945
"	YUMA MITAKE	"	10 DEC. 1946
STANDING DIRECTOR	YASUTO SAKATA	"	5 SEPT 1946
"	MASATAKE SUSUKI	26 JUNE 1945	10 DEC. 1946
"	YOSHIKICHI KIMURA	"	"
"	KIYOJI UEDA	"	"
DIRECTOR	MASATAKE SUSUKI	15 APRIL 1944	28 JUNE 1945
"	YOSHIKICHI KIMURA	"	"
"	KIYOJI UEDA	"	"
"	YOSHINO KUMADA	"	25 OCT. 1945
"	MASAO NAYASHI	"	"
"	KUNIMICHI HARA	26 JUNE 1945	"
DIRECTOR	YASUHIKO KAWABATA	15 APRIL 1944	5 SEPT 1946
"	KOICHI BUNYA	"	25 OCT. 1945
"	SAIICHI MORITA	"	9 OCT. 1944
AUDITOR	MOTOGORO NOMURA	15 APRIL 1944	25 OCT. 1945
"	KEIJI NOMURA	"	"
"	TOMIZO NOGUCHI	"	"
"	SAIICHI MORITA	9 OCT. 1944	5 SEPT 1946
"	TOKUSHICHI NOMURA	15 APRIL 1944	15 JAN. 1945
"	YOSHITARO NOMURA	28 JAN. 1945	24 AUG. 1945

III THE NOMURA KENSETSU KOGYO KABUSHIKI KAISHA

(NOMURA CONSTRUCTION CO. INC.)

(A) AT THE TIME OF ASSUMPTION

NOMURA COMPANY	40%
NOMURA LIFE-INSURANCE CO.	45%
NOMURA BANK	12½5

AT THE TIME OF RETIREMENT

THE SAME AS ABOVE

(B) NAME , POSITION AND DATE OF APPOINTMENT AND RETIREMENT OF OTHER OFFICIALS

POSITION	N A M E	DATE OF EMPLOYMENT	DATE OF RETIREMENT
PRESIDENT	TAKEO YASUI	31 AUG. 1945	21 MAY 1946
STANDING-DIRECTOR	MASAO HAYASHI	"	22 DEC. 1945
DIRECTOR	TAKEO OKADA	"	24 JUNE 1946
"	~~MUSHITSUMI~~ MINEICHI HARA	"	10 DEC. 1945
"	MITSUGU YAMAGUCHI	"	"
"	SEIZO KIYODA	"	"
"	YOSHIHO KUMADA	"	"
"	MATAO UKON	"	"
"	HARUICHI HIRAI	"	21 DEC. 1946
"	SHIGEYASU SATO	"	7 JAN. 1946
"	KENZO FUJII	"	21 DEC. 1946
"	SETSUO TAKAHASHI	"	"
AUDITOR	KEIJI NOMURA	"	10 DEC. 1945
"	ISTSU HASHIMOTO	"	"
"	TOMIZO NOGUCHI	"	"
"	KOICHI SUNYA	"	"
"	YUZO EBAMOTO	"	"

DATE OF EMPLOIMENT AND RETIREMENT	NAME OF COMPANY OR ORGANIZATION WHERE YOU SERVED	STATUS OF THE POSITION (INCLUDING POSITION AS ORDINARY PERSONNEL)	DUTIES AND POWERS (IN DETAIL)	S UBSTANCE OF BUSINESS OF ORGANIZATION OR COMPANY WHERE YOU SERVDD AND ITS LOCATION
APRIL I927	THE NOMURA GOMEI KAISHA (NOMURA&CO.)	MEMBER OF GENERAL AFFAIRS SECTION	ORDINARY CLERK	STOCK HOLDING. O S A.K A.
DEC. I932				
JAN. I933		ACTING CHIEF OF THE ABOVE SECT-ION THE CHIEF OF THE ABOVE SECTION	ADMINISTRATION OF GENERAL AFFAIRS	
DEC. I933	"			"
JAN. I934				
DEC. I937	"		"	"
DEC. I937		CHIEF OF TOKYO OFFICE		
APR. I939	"		LIAISON WITH OSAKA HEAD OFFICE	"
5APR.I939	THE NOMURA KOGYO K.K. (NOMURA MIN-ING CO, INC.)			METAL MINING T O K Y O
IOSEP.I942		DIRECTOR AND MANAGER	MANAGEMENT	
20SEP.I942			SUPERINTENDENT OF MANAGEMENT	
29NOV.I945	"	STANDING D. MANAGING DIRECTOR		"
29NOV.I945				
2APR.I948	"		"	"
2APR.I948			CHIEF OF OPER-ATION	
PRESENT	"	PRESIDENT		"
DEC. I943	THE NUBERU KAREDONI KO-GYO K.K. (NOUVELLE CAR-EDONIE MINING CO., INC.)	DIRECTOR	MANAGEMENT PART-TIME DUTY DIRECTOR IN ABSENTIA.	IMPOTATION AND SALE OF IRON ORE FROM NEW CAREDONIA. T O K Y O
OCT. I945				
I5SEP.I944	THE NOMURA TO-INDO SHOKUSAN KK. (NOMURA ~~SHOKUSAN-EAST~~ INDIES CUL TIVATION CO.)	AUDITOR	AUDITING OF ACC-OUNT PART-TIME DUTY AUDITOR IN ABSENTIA	CULTIVATION OF INDUSTRY IN THE SOUTHERN SEA ISLAND T O K Y O
250CT.I945				
3IAUG.I945	THE NOMURA KEN-SETSU KOGYO K.K. (NOMURA CONSTRU-CTION CO. INC.)	DIRECTOR	MANAGEMENT PART-TIME DUTY DIRECTOR IN ABSENTIA	REAL ESTATE ADMINISTRATION AND GENERAL CONTRACTOR ANDD ENGINEERING O S A K A
IODEC.I945				

弊社ニハ明文ニヨル取極メナシ。野村合名會社ニ於テ關係會社ノ最高役員ノ就任ニ付テ終戰前ニ於テハ豫メ承認ヲ要スル旨規定アリタルモ其ノ他ノ役員ニ關シテハナシ。特ニ弊社ノ場合ハ野村德七ノ個人出資ニヨリ會社設立サレタル爲野村德七ヨリ設立當初ノ最高責任者山内貢ガ任命ヲ受ケタル他合名又ハ同族ヨリ事前ニ於テモ事後ニ於テモ承認ヲ受ケタル事ナシ。

村鋼業株式會社

當社ハ山内貢ガ野村徳七ノ個人出資ヲ得テ設立シタ會社デアルガ自分ハ野村鋼業ノ静高責任者トシテノ山内貢ノ推薦ニヨリ取締役（兼支配人）ニ就任シタモノデアツテ、野村同族又ハ野村合名ハコレニ關與シナカツタ。昭和十七年九月常務取締役ニ昇進シタ時モ事情ハ同一デアツタ。昭和二十年十一月ノ株主總會ニ於テハ山内ハ札長ヲ辭シ野村同族モ委任狀ヲ出シ少數株主ヨリ選バレタ監査役ノ推薦ニヨリ專務取締役ニ就任シタモノデアツテ野村同族又ハ野村合名ハ全然關與シナカツタ。（申請理由書參照）

ニ

野村東印度殖産株式會社

野村鋼業ハ野村東印度殖産ノ大株主（三萬株全体ノ五〇％）デアリ且ツ自分ノ責任ニ於テ技術者派遣ノ事モアツタノデ野村鋼業ヲ代表シ監査役ニ就任シタ。野村同族又ハ野村合名ハ之ニ關與シナカツタ。（申請理由書參照）

ニ

野村建設工業株式會社

野村建設工業ハ戰爭中野村鋼業ノ土建工事ヲ副負ヒ且終戰後モ北海道ニ於ケル地盤ヲ必要トシ就任ヲ懇請サレタノデ取締役ニ就任シタモノデアル。野村同族又ハ野村合名ハ之ニ關與シナカツタ。（申請理由書參照）

第五頁

十一、本人の役員就任當時その勤務した財閥會社と財閥又は財閥直系會社との間に役員としての就任についての事前承認を必要とする旨の取極の有無

無

(一) 明文の取極の有無

(二) 本人の役員としての就任の事情の詳細、特にその就任につき財閥又は財閥直系會社が關與した事實の有無

第六頁

十二、本調査書作成年月日

昭和二十三年五月廿日

「この調査表の記載は眞實であり且つ完全であることを確言する、又私はこの調査表の重要な事項について虚僞又は事實をかくした記載があるときは財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられることを諒承してをる旨申し添える」

署名 [signature] [印]

11. At the time of your assnmption of office as official, whether or not the arrangement that the previous approval be obtained from the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate regarding assumption of the position of official existed between the Zaibatsu company where you served and the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliates.

a. Whether or not the arrangemeut existed in writing.

No such arrangment existed in writing. Prior to the war-end, the assumption to office of a the highest responsible officer of the related company required previous approval by the Nomura Gomei Kaisha, although no such approval was required of the other officers. Particularly, in the case of this company, which was established through fund put forth from the personal account of Tokushichi Nomura, Mitsugu Yamauchi, who was the highest responsible officer at the time of the company's establishment was the only officer who received the appointment. All the other officer did not receive any prior approval or recommendations from either the Nomura Gomei Kaisha or the Nomura family.

Nomura family submitted [illegible] power of attorney, refrained from exercising shareholder's right and I assumed the post of managing director, recommended by Officers Selection Committee which was organized from among minority shareholders. In this case also, neither the Nomura Family nor the Nomura Gomei Kaisha had any concern over my assumption.

(2) The Nomura East Indies Cultivation Co., Inc.

As the Nomura Mining Co. took over shares (3o,ooo shares 5% of the total) of the Nomura East Indies Cultivation Co. and dispatched technical staff on my responsibility, I assumed auditor's office of the latter as representative of the former. Thus regarding Aoki's assumption, neither the Nomura Family nor the Nomura Gomei Kaisha hah any concern therewith.

11. At the time of your assnmption of office as official, whether or not the arrangement that the previous approval be obtained from the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate regarding assumption of the position of official existed between the Zaibatsu company where you served and the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliates.

a. Whether or not the arrangemeut existed in writing.

b. Details of circumstances under which you assumed the position of official; particularly whether or not the Zaibatsu or the direct Zaibatsu [illegible] your assumption of office.

No such arrangment existed in writing. Prior to the war-end, the assumption to office of the highest responsible officer of the related company required previous approval by the Nomura Gomei Kaisha, although no such approval was required of the other officers. Particularly, in the case of this company, which was established through fund put forth from the personal account of Tokushichi Nomura, Mitsugu Yamauchi, who was the highest responsible officer at the time of the company's establishment [illegible], 5% of the total) of the Nomura East Indies Cultivation Co. and dispatched technical staff on my responsibility. I assumed auditor's office of the latter as representative of the former. Thus regarding Aoki's assumption, neither the Nomura Family nor the Nomura Gomei Kaisha hah any concern therewith.

(3) The Nomura Construction Co., Inc.

The Nomura Construction Co. was entrusted with the construction work of the Nomura Mining Co. during the wartime and I was obliged to assume the post of director of this concern by their earnest request who planned works in Hokkaido also after the war end and so needed my sphor of activity there.

Such being the circumstances neither the Nomura Family nor the Nomura Gomei Kaisha hah any concern with my assumption.

第六頁

十二、本調査書作成年月日

昭和二十三年五月九日

「この調査表の記載は眞實であり且つ完全であることを確言する、又私はこの調査表の重要な事項について虚偽又は事實をかくした記載があるときは財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられることを諒承してをる旨申し添える」

署名 [redacted]

12. Date

MAY 5, 1948

13. I hereby certify that entries made in this questionnaire are true and complete. I further add that I understand that entries false or lacking full and cemplete disclosure on relevant or material matters in this questiornaire will subject me to penaly in accordance with the provisions of Article 31 of the Law for Termination of the Zaibatsu Family Control.

Signa ture

Torao Aoki

APPROVED May 17, 1948
承　認　昭和23年5月17日

393 Misao Ueda

May 5th, 1948.

TO: Hon. Hitoshi Ashida,
Prime Minister.

SUBJECT: Petition for permission to retain Torao Aoki in office.

FROM: The Nomura Mining Co., Ltd.

The undersigned applicants hereby comes forth to file this petition requesting permission be given by your special consideration to have the below-named retain in office until January 6, 1949.

Name in full: Torao Aoki.

Date of birth: September 25th, 1902.

Permanent domicile: No. 14 1-chome Sakamoto-cho, Daito-ku, Tokyo.

Present address: Miyashita-cho, Rubeshibe-cho, Tokoro-gun, Hokkaido.

Present post: President and Representative Director of Nomura Kogyo Kabushiki Kaisha. (The Nomura Mining Co., Ltd.), an associate company.

In response to an application filed by the above-named for examination in accordance with Article 7 of the Law Governing Removal of Controlling Power of Zaibatsu Family, a notice was given for disapproval on April 17th, 1948 and he was obliged to leave his office as of May 16th. However, for the reason given below, we hereby petition for your permission to retain him in his office until January 6, 1949 based on the provisions of Paragraph 1 and 2 of Article 8 of the Law Governing Removal of Controlling Power of Zaibatsu Family.

1. Torao Aoki is the only officer who represents the company.

The former president Yoshiro Kumada was permitted to remain in office until the end of May, but as was described in his application for permission to retain his office, Managing Director Aoki was confident of being able to receive favorable approval on his individual examination and had arranged to start taking over the duties of president on his anticipated promotion to that office. But the reconstruction plan of Itomuka Mine which had been scheduled to be completed at the end of May caused delay in operation schedule by over three months due to the following reasons.

(a) The damage sustained in the pit by the last summer's heavy flood was found unexpectedly severe as the reorganization work progressed.

(b) The change of the pit readjustment plan as a result of dismissal of laborers supplied by labor bosses, and the resultant delay in the readjustment work.

(c) The difficulty in employing mining personnel urgently.

(d) Heavy snowfall seldom in recent years, and snow-storms visited several times. In order to map out counteractions against the change in plan, and find solution to labor problems centered on wage questions, Managing Director Aoki found it difficult to leave the field, his visit to Tokyo to take over the president's duties being prevented till this day. The retiring president, Yoshiro Kumada, on the other hand, was thus unable to relinquish his post in the face of accumulating duties. Pressure thus caused by overwork has obliged him to

be confined to bed. On his physician's advice, he was prohibited to take up duties, and his resignation took place on March 31. On the occasion of a meeting of the board of directors held on April 2nd, a resolution was passed to elect Managing Director Aoki president and representative director by advancing the appointment from the previous schedule by which it was slated in June. However, as his qualification was still undergoing screening, Aoki requested the board to postpone his assumption as head of the company until officially notified of his status. But the board was so convinced that Aoki's status would be unquestioned and since there are no other qualified officer who is fully capable of taking charge of the general affairs of the company as president, which reason is described below. Furthermore, as Aoki's promotion had been previously arranged after President Kumada's retirement, the board of directors solicited him to assume the president's office. Aoki was also conscious of the unprecedented crisis which now confronts the company and in consideration of the future welfare of the 700 employees with whom he has shared hardships and privations for the past many years, he at last consented to assume the post.

2. Aoki is the most important person without whom the business of the present Nomura Mining Co. can not be operated smoothly.

(1) Following is the present line-up of officers of our company.

Aoki, president & director	- taking duties in Tokyo and Hokkaido for half a month each.
Yajima, director	- Chief of Engineering Dept. of Hokkaido Branch.
Nishimura, director	- Manager of Itomuka Mine, Hokkaido.

Yoshimura, director - Manager of Okito Mine, Hokkaido.

Matsumoto, auditor - Tokyo Head Office.

Yajima is an engineer and a graduate of Geology of the Hokkaido Imperial University. He has taken sole charge of the technical duties of our company and is engaged in the prospecting and mining at Itomuka and Okito Mines, which is a matter of immediate necessity and giving guidance in the technical problems in general. Nishimura is a graduate of the Tokyo Commercial University and has held the manager's post at Itomuka Mine since 1941. He has never participated in the general management of the company except Itomuka Mine. Besides, as described below, Nishimura's service is absolutely needed in order to speed up the reconstruction plan of Itomuka Mine under the prevailing entangled and difficult situation, and to dispose of the field business and counteract against the labor problems. At first Nishimura had arranged to come up to Tokyo accompanying Aoki and to assist him in the general management work at the head office, but for the above-mentioned reason, the circumstance prevents him from leaving the field for the time being.

Yoshimura is also an engineer and as manager of Okito Mine, he is in almost the same position. He was appointed director only in November last year.

Under these circumstances, it is impossible for these three directors to leave Hokkaido as they must be on hand to direct business on the field. Besides, their careers have been only to take up duties on the field and they can not be charged with the overall management of the company's business. It is either

difficult at this stringency to straighten out the company's business by appointing an outsider for president. Thus, Aoki who was an experienced assistant to the former president Kumada is the only person who knows the details of the company's business and who can control the general management of this company.

(2) The Nomura Mining Co. is at present facing a serious crisis in its management. In order to break through this plight, the company needs a skilled manager who is fully versed in the status of the company and the business field in general. Under this circumstance Aoki's presence is pre-requisite after Kumada has been retired.

(a) The prospecting activity in the metal mining enterprise is at present very dull as a result of the reckless mining during the wartime, the quality being degenerated, and coupled with the shortage of mining personnel, every mining company is in the state of predicament in its management. As for Ttomuka Mine, despite its being a newly operated mine, mercury was one of the major items as a strategic metal, and as it was the only one mercury mine in Japan, our company was ordered to keep on increased production, and during the wartime, the monthly peak of its output reached a one-time high of 25 metric tons. Though it was such an excellent mine, due to poor prospecting after the termination of the war, the quality of product was deteriolated sharply. Coupled with the heavy decrease in the personnel of miners, the present monthly output scarcely retains a 3 - 4 metric ton level. Now the prospecting is about to be resumed on positive scale, and the readjust-

ment work of the desolate pit damaged by the last summer's flood is advancing gradually, and the quality is tending to show slight improvement and we can now hope for a bright future. But in order to make both ends meet, it is necessary to produce more than 6 metric tons monthly. For attainging this mark, it will take a period requiring half a year if and when the shortage of mining personnel can be met in future. Under a circumstance when we are not permitted to obtain funds to cover deficits, we must depend on the ability of the most talented person.

(b) As an operator, we did our best to ensure the security of livelihood for our employees and made effort accordingly. However, as a result of the difficulty in management, we could at best pay wages which ranked middle comparing the wage level of metal mines in Hokkaido. But our mines are located in the area where grains are abundantly produced, so that the food situation is comparatively secure for our employees, but as a result of the recent hike in prices of commodities, the cost of livelihood soared sharply and accentuated by the rise of black market prices, the employees put up demands for higher wages. In order to meet the situation, the company carried out further increase of wages by 50% effective as from April in spite of the present unfavorable balance sheet of the company's account. It was absolutely necessary for the company to boost production in order to finance the required funds and to cover increased losses. A single mis-step might lead to non-payment of wages, further leading to a crisis endangering the future existence of the mine, and threatening to turn out a large number of jobless.

In order to cope with this situation and ensure steady progress of the enterprise, it goes without saying that our company wants a manager of high talent and ability. Nobody except Aoki is qualified to fill the need.

(c) It has been generally reported that a new price system will shortly be carried into effect. The prices of mineral products ought to be revised in conjunction with the general price revision. As far as our company is concerned, this is a grave problem affecting the destiny of the company's enterprise. As wages to be paid after the new prices of mineral products are fixed, an agreement on wages was reached on April 27th between the Metal Mine Operators' Union and the All-Japan Metal Mine Labor Union Federation through the mediation of the Ministry of Commerce & Industry, and their wages were fixed at equal rates with those of coal miners. However, in fixing the prices of mine products, it shall not be calculated only by the cost accounting method, but the relations of demand and supply and the international price level shall be reckoned as well. As for our company's mercury products, we have stock which belonged to the former Japanese Army during the war, and also due to poor demand at present, we are overstocked, but owing to the change in the international situation since last year, the product has come to find brisk demands as an export item. 200 metric tons have already been exported since last year, and talks for deals are now in progress for nearly 300 metric tons. Judging from this situation, all dead stocks will be cleared shortly. As for the home consumption, heavy increase of demand

will inevitably be raised if the increase in the number of vessels which Japan will be permitted to hold and the probable alleviation in the reparation of alkali industry, etc. will be realized. Now the home demand is gradually mounting, but in the present situation, on account of the surplus of stock on hand, there is some fear of the proposed price increase being subjected to considerable restriction. Thus, due to the cheap price of product and the high wages and raw material costs, our company's reconstruction plan has to be drastically revised. We may be obliged to carry out a curtailment of production plan and the resultant mass adjustment of employees. As future may see, it is feared that we must take a measure to temporarily suspend the operation of mines if so obliged according to the development of these contingencies. In order to tackle these fundamental problems and find a good remedy, Aoki who has the longest experience since the time of foundation is indispensable for our company.

(d) Regarding the disposal of 155,400 shares of this company owned by Nomura Family, we have been ordered to draw up a measure by the Securities Disposal and Adjustment Council. It is necessary for us to realize this matter by this autumn. This is an important matter which relates to the prompt democratization of our company and it also has an important bearing upon the company's right of management. We have filed an application for distribution of these shares to our employees. But this matter naturally is accompanied by a difficult financial question. Nobody except Aoki is able to touch upon this problem.

(e) In our Hokkaido Branch, in order to absorb surplus

personnel following the retrenchment of the enterprise, new enterprise sections have been set up, and they have already started pharmaceutical, saw mill, wood-working, machine tool enterprises and food processing is also undertaken by Agricultural Section. To these sections more than 100 personnel have been absorbed. It is necessary that we must be prepared to absorb surplus personnel as may possibly happen. We have hitherto depended on Aoki's planning and leadership to attend to these undertakings. It is only a short time since the company start these reorganization plans and we therefore must give sufficient time before they will be operated as full-fledged enterprises. In the present line-up of the board of directors, no other person except Aoki can take proper charge of these enterprises.

3. The enterprises of this company are necessary for the restoration of the national economy.

Our Itomuka Mine and Okito Mine produce 100% of the mercury output in Japan. As metal mines now being operated in Hokkaido, these two mines hold important position and they have been designated as major mines for the year of 1948.

Mercury, needless to say, is not only an important strategic metal, but it has specific demand in peacetime industries, on the other hand. Especially Itomuka Mine during the wartime produced a peak figure of 25 metric tons monthly. This result is comparable to the level of leading mines in the world, and therefore, Natural Resources Section of SCAP has long paid attention to the activity of this mine.

Mercury is being used in detonators, ship's paints, alkali industry, electrical machines, measuring instruments, agricultural

medicines and medicines, etc. At present, however, we have stocks which belonged to the Japanese Army, which have been kept since the wartime. Owing to the poor demand for this product resulting from the sharp decrease of ship's bottoms and the alkali manufacturing plants having been designated as reparation items, the home consumption finds no shortage of supply. However, in virtue of the recent change in the overseas situation, purchases from foreign countries have increased. Already 200 metric tons have been exported since last year, and 117 metric tons have been contracted. Negotiations for further deals for 170 metric tons are also in progress. Not only is it contributing for the acquisition of foreign credit, but in the relation of demand and supply, the greater part of these deals have been made out of the stock goods. All these surplus goods will therefore be nearly consumed by this summer, it is observed. In the field of home consumption, on the other hand, Japan's annual demand exceeded 600 metric tons in the prewar days, the greater part of which was met by import. But in the future, 300 metric tons will at least be demanded annually if the reported alleviation of Japan's reparation items such as the light metal and alkali industries and the increase of shipping space will be realized. Demand is being raised already from quarters which actually consume this product. In order to fill these increasing demands, it is inevitable that our company must reorganize our mines which are unique in Japan, utilizing the equipment and endeavor to increase the production. Further, viewing the general feature of metal mines and the specific feature of the deposits of Itomuka Mine in particular,

if the mining operation at this mine is once stopped, it would be extremely difficult from technical point of view to resume operation rapidly in order to meet the recovery of demands. We must add in this connection that a far greater amount of expenses is needed than to start operation at a new mine.

4. Our company desires Aoki to remain in office for one year, and if this is not permitted, for half a year at the shortest.

(a) Since October last year, our company has been carrying out the reorganization plan with May this year as a goal. However, because of the unexpectedly severe flood damage of last summer which was found as the reorganization plan progressed, lack of mining personnel, parallel with the dismissal of laborers supplied by labor bosses, heavy snowfall toward the end of this business year which was seldom in recent years and visits of snow-storms several times, etc.the plan was behind the schedule by three months as early as April. It requires at least 6 months to carry on the operation smoothly on planned basis.

(b) It is anticipated that the price revision will shortly be carried out. If this revision will be limited to main items only as reported, mercury will not be included, and our company will have to be affected outrightly by the rise in raw materials and personnel costs. Even in the case the price increase of mercury is carried out, provided it will not lead to the soaring of cost price as the result of taking into consideration the present relations of demand and supply and the international price level, a drastic reform of our reconstruction plan becomes necessary, and it is predicted that we must inevitably carry out the adjustment

of personnel and saving of material costs. According to our forecast, the forthcoming price revision has full probability of endangering the continued operation of our enterprise. In order to counteract these seemingly unfavorable situation confronting our company, we need such able man as Aoki who is well-versed in all phases of our company's business and the status of the mining enterprise in general. The drafting of plans and their execution require a minimum of 6 to 9 months' period.

(c) As described above, various enterprise sections have been opened in our Hokkaido Branch through Aoki's planning and leadership in order to absorb surplus personnel as a result of the curtailment of the scale of enterprise as hitherto and the reorganization that may possibly be planned in future. All these undertakings cover various lines, but it is only a short time since the business were started, and they can hardly make both ends meet, a grea-t many difficulty lying in their way. Aoki's guidance and one year's period is needed before the foundation of these enterprises is established.

For The Nomura Mining Co., Ltd.,

S. Nishimura
Susumu Nishimura,
Director.

ADDENDUM: (1)

MINUTES OF THE MEETING OF BOARD OF DIRECTORS

April 20th, 1948.

A board of directors meeting was held at the Hokkaido Branch on April 20th, 1948 and the following matters were approved.

1. To file an application for Torao Aoki, representative director's remaining in office in accordance with Paragraph 1 and 2 of Article 8 of the Law Governing Removal of Controlling Power of Zaibatsu Family.
2. To appoint Susumu Nishimura, director as representative of this application.

The Nomura Mining Co., Ltd.

Sumisaku Yajima, director.
S. Yajima

Susumu Nishimura, director.
S. Nishimura

Kojiro Yoshimura, director.
K. Yoshimura

May 1, 1948

TO: Hon. Hitoshi Ashida,
Prime Minister

SUBJECT: Petition for retaining representative officer in office.

FROM: Employees' Union of the Nomura Mining Co., Ltd.

Torao Aoki, president and representative director of the Nomura Mining Co., Ltd.

We have been informed of the disqualification of the above-named in accordance with the Law Governing Removal of Controlling Power of Zaibatsu Family. We take it that the above may be unavoidable as a result of your examination made in accordance with the Law. But for the reason given below, President Aoki's resignation, if realized, will not only affect the existence of our company, but through his retirement, our life will likewise be exposed to a direct menace. We therefore petition that your permission be given to have him retain in office for one year by your special consideration.

1. Our company was founded in April, 1939, and has been engaged in the mining and refining of mercury with Itomuka Mine and Okito Mine in Hokkaido as the principal enterprise places. The output from these two mines cover almost all mercury production in Japan. During the wartime, by order of the Government, our enterprise was sharply expanded through increase of capital and raising loans. But with the termination of the war, these equipments stopped working and they have been left idle as they were. The company's business

status also fell into utter confusion due to various unfavorable factors such as decline in the peacetime demand on mercury, unbalanced relation of demand and supply based on the large stock kept during the wartime, cheap price of product, decline in production caused by the accumulation of adverse conditions during and after the wartime, rise in cost as a result of the hike in wages and prices of commodities etc. However, recently the home demand is gradually tending to increase because of (1) export of mercury with the reopening of foreign trade and change in the international situation, and (2) alleviation of reparation items for light metal industry and alkali industry, etc. and anticipated increase of ship's bottoms which Japan will be permitted to hold. Hence, the present stock, though held in surplus more or less, will be cleared before long. In order to meet the increasing demand in future, we will be called upon to keep up the operation of our mines, a situation promising a somewhat bright future for us employees as well.

In order to provide for the future, we union members have, in cooperation with the company, mapped out a reconstruction plan through the readjustment and rationalization of the mines, such as prospecting, pits, and refining work etc. We have thus been strenuously endeavoring to break through the present predicament. It happened that the former president Kumada was disqualified by the Law Governing Removal of Controlling Power of Zaibatsu Family, and his application for retaining in office was approved. But before the term permitted was expired, he retired on account of illness, and as his successor, Aoki has

been promoted. In collaboration with him, we all exerted toward opening a new field of activity. At this time we were informed of your decision of his disqualification, and we are quite at a loss not knowing what to do, and are extremely embarrassed. To explain the present status of our company, (1) Heavy damage was sustained in the shafts by flood disaster of Itomuka Mine in August last year. Shafts which became desolate during the wartime and had been under repair again sustained damage before the repair work was completed, and also due to decrease of mine pits which had been prepared for expansion, dwindling of production has been caused. (2) Consequent upon the personnel cut following the diminishing of the scale of management, which had been carried out since the end of last year, and the difficulty to fill the lack of mine personnel and the decrease of laborers working in pits and galleries, as a result of the withdrawal of laborers supplied by labor bosses, coupled with the confusion in operation caused by the early-season snowfall since last year and hindrance in operation by the restriction of power supply, our reorganization plan progressed only halfway of the schedule. The production plan, after all, could be accomplished only half part of the schedule, causing a marked discrepancy in our reorganization plan. We therefore can not get out of the plight and are taking pains how to find a remedy.

It is likely that the revision of prices will be carried out. This matter involves a problem which will have a vital bearing upon the destiny of our enterprise. Through this

revision in prices, the rise of production cost is inevitable. On the other hand, the price revision of mercury, if carried out on the basis of the cost price formation and the international price level, will implicate a very difficult problem. Granting that a further increase in price which is sufficient to cover the higher cost should be recognized, the later export business, needless to say, will have to be subjected to an extensive manipulation in prices.

Thereupon, the present reconstruction plan will be necessary to undergo a drastic reform, and if the situation turns out worse, we fear a grave consequence may befall us employees such as the curtailment of enterprise or a temporary closure of mining operation.

It goes without saying that at this critical time, only a person who is well-versed in the overall circumstance of the company and the circumstance in general of the enterprise field can map out a timely reorganization plan and accomplish it, grasping the real phase of the situation and surmounting all difficulties.

On the other hand, the head office has the following business to perform. That is, (1) Negotiations with Government offices and the Industrial Reconstruction Corporation. (2) Negotiations on financial problems with the Industrial Reconstruction Financing Organ, the Bank of Japan, and banks with which we are transacting. (3) Regarding export which is the only line of demand for our product at present, negotiations with foreign buyers or the Foreign Trade Board for export of mercury. The

head office business thus ranges over complicated items and they are no less important than the increase of production. These business call for an urgent and correct judgement and action. In order to carry out these important business, nobody can do it successfully unless he is a competent manager and has full knowledge of the trend of business circles. We wish to emphasize that President Aoki is the only right person and nobody else can cope with the present difficult situation.

Furthermore, we set up in Hokkaido area various enterprise sections such as pharmaceutical, saw mill, wood-working, mechanical workshop, and food processing enterprises. When the readjustment was carried out last time, a greater part of personnel were absorbed to these enterprise sections. The company further rests a considerable hope on the future activity of these new enterprises so that they may absorb more personnel and contribute a share also in accounting problems. All these enterprises have been operated based on President Aoki's planning and guidance. It is however only a short time since the business was started and the foundation of each section is not yet stabilized. President Aoki's retirement therefore will nip the future growth of these undertakings.

Our company has three other directors, Yajima, Nishimura, and Yoshimura. They were all elected from among officials in November, 1945. Mr. Yajima has been engaged in prospecting and giving guidance on technical problems as director in charge of technical duties. Mr. Nishimura, since he entered the company in 1941, stationed in Itomuka Mine, and is now the

manager there. Mr. Yoshimura is the manager of Okito Mine and they are devoting to the reconstruction of the mines. These directors are busy and can not be relieved their duties on the field. Considering their career and speciality, either of them can not be regarded as a right person to take charge of the various affairs as mentioned above.

If we appoint an outsider as president, we think no person will be fit to rightly tide over the situation now confronting the company, unless he is an experienced person who is well - versed in the details of our enterprise.

Thus Aoki is an indispensable person for operating our company. Unless he be permitted to retain his office for one year, the existence of the company will be affected seriously and the life of us employees will be exposed to a menace.

We hereby petition that your special consideration be given for his retaining in office for one year.

The Nomura Mining Co., Ltd.,
H. Wakabayashi
Hidesaku Wakabayashi,
Chairman of committee of
the head office employees union
M. Fukumoto
Mitsutoshi Fukumoto,
Executive chairman of the
Hokkaido Branch Employees union

6 May 1948

TO : Mr. Ihei Shizeki, chief
Mining Bureau
Ministry of Commerce and Industry

FROM : The Nomura Mining Co.,Ltd.

SUBJECT: Request for Certification.

This is to request approval on the following certification to be submitted to the Committee on Qualifications of Zaibatsu Officers:

This is to certify that the Itomuka Mine and the Okito Mine of the Nomura Mining Co.,Ltd., produces 100% of the nation's mercury output.

Both the aforesaid mines have been designated as being of primary importance for the year 1948.

Furthermore, of the metal mines now in opration in Hokkaido, the aforementioned mines occupy a position of primary importance and is deemed vitally necessary for the rehabilitation of the ~~WWWW~~ economy of the Japanese people.

---

8 May 1948

No. 2078 of Gogai 23

The above is hereby certified and approved.

(signed) I. Shizeki (seal
Chief of the Mining Bureau
Ministry of Commerce and Industry

APPROVED May 17 1948
承認 昭和23年5月17日

Misao Ueda

古河

NAME YUKICHI ASADA

No. 769

Name of Company FUJI DENKI SEIZO KABUSHIKI KAISHA (FUJI ELECTRIC MANUFACTURING COMPANY LTD.)

個人調査書

（記載上の一般的注意）

一、本調査書は、三通提出しなければならない。

二、調査書は、日本文及び英文で記入する。その場合、英文記載事項は對應頁の日本文に照應するものとする。日英兩文間に相違がある場合は、英文によるものとする。

三、記載事項は、楷書（英文の場合は大文字活字體）で明瞭に記入しなければならない。

四、各記載事項は、空白のまゝにしないよう正確に且つ良心的に記入しなければならない。

五、各記載事項中該當事項のない場合は「該當しない」又は「該當事項なし」等の文句を用いて記入しなければならない。

六、記載すべき空欄に充分の餘白がない場合は、補助紙を用い、「補助紙に續く」等の字句を記入して、いずれの記載欄の補助紙として用いたかを明かにしなければならない。

七、この調査表の重要な事項について虚僞の記載をし又は事實をかくした記載をした者は、財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられる。

富士電機製造株式會社

氏名 淺田勇吉 第 號

個人調査書

一、姓名（振假名をつけること）
アサダ　ユウキチ
淺田　勇吉

二、從來使用し又は一般に通用している他の名稱（通稱、筆名等）
該當事項無し

三、生年月日（年齡數え年）
明治二十七年十一月二十六日（五十五才）

四、出生地（都道府縣）
東京都

五、現住所（略記しないこと）及び電話番號
東京都中野區上の原町二番地　電話
中野二二三番

六、本籍地（略記しないこと）
東京都中野區上の原町二番地

Questionnaire

1. Name (In full).

YUKICHI ASADA

2. Other names which you have used or by which you have been known. (alias or penname).

NONE

3. Date of birtn (age).

NOV.26, 1894 AGE 55

4. Place of birth (prefecture).

TOKYO CITY

5. Present address (in full) and telephone number.

NO.2 UENOHARAMACHI, NAKANO-KU, TOKYO

TELEPHONE: NAKANO 223

6. Permanent address (in full).

NO.2 UENOHARAMACHI, NAKANO-KU, TOKYO

第二頁

七、現に保有し又は就こうとする財閥、制限、從屬又は關係會社における役員としての地位

（一）會社の名稱及び財閥系統（昭和二十年九月二日以降稱號變更があつた場合は舊稱號を含む）

富士電機製造株式會社　古河系

（二）財閥會社、制限會社、從屬會社又は關係會社の區分（財閥會社の場合には更に直系、準直系又は傍系の區分）

財閥傍系會社

（三）地位

常務取締役

（四）就任の豫定日

該當せず

八、前項の他本人の保有するすべての身分及び職業

電氣技術資用化協會理事

機械工業技術委員會、電氣部會委員

農業機械化協會理事

九、財閥としての指定者との親族關係

（一）關係の有無及び有りとすればその詳細（財閥同籍者との親族關係を含む。）

無し

（二）指定者か指定された日において指定者と同一戸籍内にあつたことの有無

無し

7. Position of official in company which you hold or for which you are under consideration.

a. Name of company and the lineage of Zaibatsu where the company belongs. (In case name of the company has been changed after 2 September 1945 the former name will also be given.)

FUJI DENKI SEIZO KABUSHIKI KAISHA
(FUJI ELECTRIC MANUFACTURING COMPANY, LTD.)

FURUKAWA LINEAGE

b. Classification of Zaibatsu, restricted, subsidiary or connected company (in the case of Zaibatsu company, the classification of the direct affiliate, indirect affiliate or associate company will also be given.)

ZAIBATSU (ASSOCIATE) COMPANY

c. Position:

MANAGING DIRECTOR

d. Scheduled date of assumption of the position.

NOT APPLICABLE

8. All other positions snd professions which you hold now.

DIRECTOR OF THE ASSOCIATION FOR UTILIZATION OF ELECTRICAL TECHNICS FOR PRACTICAL PURPOSES.
COMMITTEE OF ELECTRICAL DIVISION OF THE ASSOCIATION OF MECHANICAL INDUSTRY.
DIRECTOR OF THE AGRICULTURE MECHANISING ASSOCIATION

9. Family relationship with the persons designated as Zaibatsu.

a. Existence or not of the relationship and its details, if any. (includiug relationship with the Zaibatsu family members.)

NO

b. Whether or not you were on the same family register with the designated persons on the day of their designation.

NO

第三頁

七、職業の履歴

註一、本欄の會社團體とは財閥會社に限らずあらゆる會社團體を含むものとし、團體中特に組合、協會、協議會等の經濟團體については詳細に記入すること

註二、職務内容に關し本人の地位から當然豫想せられる職務を事實上擔當していなかつた場合には本人が實際に擔當していた職務内容及び本人に代わり當該地位の管轄たるべき職務を事實上擔當していた者の氏名を記入すること

註三、本人が役員として又は役員の待遇の地位にて勤務した會社が財閥會社たる場合には、左の事項を附記すること

(1)本人の役員としての就任及び退任の時における當該會社の株式の一割以上の所有者の氏名及び持株率

(2)本人が勤務した期間における他の役員の氏名、地位及び就任退任年月日

第三頁

七、職業の履歴

註一、本欄の會社團體とは財閥會社に限らずあらゆる會社團體を含むものとし、團體中特に組合、協會、協議會等の經濟團體については詳細に記入すること

註二、職務內容に關し本人の地位から當然豫想せられる職務を事實上擔當していなかつた場合には本人が實際に擔當していた職務內容及び本人に代わり當該地位の管轄たるべき職務を事實上擔當していた者の氏名を記入すること

註三、本人が役員として又は役員の待遇の地位にて勤務した會社が財閥會社たる場合には、左の事項を附記すること
(1)本人の役員としての就任及び退任の時における當該會社の株式の一割以上の所有者の氏名及び持株率
(2)本人が勤務した期間における他の役員の氏名、地位及び就任退任年月日

就職及び退職日附	會社團體等の名稱	地位（職員たる場合を含む）	職務內容（詳細に）	會社團體等の事業內容及び所在地
大正 七、九、	古河鑛業株式會社足尾鑛業所	社員	鑛山機械の設計	鑛業及び製錬業 栃木縣足尾
〃 一一、九、	古河鑛業株式會社	退職		
〃 一一、九、一五	シーメンス・シュツケルト株式會社		實習	電氣機械製造 獨乙伯林
〃 一三、九、三〇	歸朝			
〃 一三、一〇、六	富士電機製造株式會社	社員	配電盤器具設計係	川崎市田邊新田一 電氣機械器具製造販賣
昭和 八、一二、一	同	配電盤器具設計係長		
〃 一〇、五、二五	同	製作部配電盤設計係長		
〃 一一、一、一	同	製作部第二製造課長	配電盤並に配電器具の製造	
〃 一一、八、二〇		兼檢査課電氣部品係長	電氣部品、主として卷線の檢査	
〃 一一、一二、九	同	兼務		

〃 一三、四、二五		製作部第四製造課長兼第二製造課長	採照燈、配電盤並に配電器具の製造	
〃 一四、五、二		製作部長兼生産課長	電動機、發電機、變壓器整流器配電盤及配電器具の見積り受註設計製造發送並に採照燈の製造	
〃 一五、五、一	同	製作部長兼常務課長	同右	
〃 一五、一一、七	同	取締役就任	主として生産部面擔當	
〃 一六、七、一	同	兼製作部長兼技術部長	舊製作部を製造と設計に分離したるも内容は舊製作部と仝じ	
〃 一七、八、三一	同	取締役兼技術部長	電動機、發電機、變壓器、整流器、配電盤、配電器具の見積受註、設計、試驗	
〃 一七、一一、六	同	常務取締役	主として設計、研究部門擔當	
〃 一七、一二、三一	富士光機株式會社	取締役	特に擔當事項なし	光學機械製造販賣 東京都荏原區小山台二丁目
〃 一八、五、四	富士電機製造株式會社	兼第一設計部長	電動機、發電機、變壓器、整流器、配電盤、配電器具の設計試驗	
〃 一七、七、三	富士電機工廠	取締役	特に擔當事務無し	電氣機器製造販賣 前州[illegible]

〃 一九、三、六	同	取締役社長	事務は現地駐在新居專務行ふ	
〃 一九、七、一五	富士電機製造株式會社	兼第二設計部長	精密機械の設計	
〃 二〇、一〇、一九	同	解兼務		
〃 二〇、一二、二六	富士光機株式會社	取締役	辭任	
〃 二一、九、二〇	電氣技術實用化協會	理事	會議に出席する程度	特許實施、電氣技術指導、協力工業化業務 東京都品川區五反田五丁目 電氣試驗所
〃 二二、二、一〇	富士電機工廠	取締役社長	辭任	商工大臣の諮問に應じ機械工業の技術研究に關する重要事項を調査審議する 東京
〃 二二、三、一	機械工業技術委員會	電氣部會委員	會議に出席する程度	農業機械化の促進及農業機械工業の振興 東京
〃 二二、一〇	農業機械化協會	理事	右同	

(1) 本人の富士電機製造株式會社の役員としての就任時における同會社の株式の一割以上の所有者の氏名及び持株率

取締役就任時

〃	農業機械化協會	理事	右同	農業機械工業の振興
二二、一〇				東京

(1) 本人の富士電機製造株式會社の役員としての就任時における同會社の株式の一割以上の所有者の氏名及び持株率

取締役就任時

古河電氣工業株式會社	一八三、三八六株	三六、六%
シーメンス・シュツケルト株式會社	一一二、一二五株	二二、四%

(2) 本人が富士電機製造株式會社の役員として勤務せる期間における同社他の役員の氏名、地位及び就任退任年月日

氏名	地位	就任年月日	退任年月日
名取和作	監査役	昭九、一一、二九	
ベルンハルド・モーア	取締役	大一二、八、二二	
吉村萬治郎	取締役社長	昭六、五、二七	昭二〇、一一、二七
	取締役	〃二〇、一一、二七	〃二二、一二、一二
中川末吉	監査役	大一二、八、二二	〃二一、一二、二八
ヘルマン・ライス	取締役	〃一四、五、二七	〃二〇、一一、一二
ウイリー・チエダーボーム	取締役	昭三、六、一六	〃一九、二、一五
和田恒補	專務取締役	〃一五、一一、七	〃二〇、一一、七
	取締役社長	〃二〇、一一、二七	

[illegible]	常務取締役	〃一五、一一、七	〃二二、一二、一二
	監査役	〃二二、一二、一二	
北村辨四郎	取締役	〃一三、一一、二九	〃二〇、一一、一二
野村桐治郎	常務取締役	〃一五、一一、七	〃一七、一一、六
足立吉平	常務取締役	〃一五、一一、七	〃二〇、一一、二九
	取締役	〃二〇、一一、二九	〃二一、五、三
春日彪次郎	取締役	〃一八、五、七	〃二二、三、二三
古河従純	取締役	〃一九、五、九	〃二〇、一一、一二
永田静	取締役	〃一九、五、九	〃二一、五、四
	常務取締役	〃二一、五、四	
六所静一	取締役	〃二一、五、二五	〃二二、一二、一二
	監査役	〃二二、一二、一二	
島居金次郎	取締役	〃二一、五、二五	
片山準三	取締役	〃二一、五、二五	
吉田貞之助	取締役	〃二一、五、二五	
大富寛	取締役	〃二二、一二、一二	
前田七之進	取締役	〃二二、一二、一二	
金成増彦	取締役	〃二二、一二、一二	

10. Chronological record of profession and employment.

Note 1: "Organization or company" mentioned in this column include any organization or company other than Zaibatsu company. With reference to organizations, relationship with economic organizations such as union, association or conference etc. will particularly be given in detail.

Note 2: In case you did not, in fact, handle duties for which you have been authorized, duties and powers which you actually handled and name of the person who dealt with duties originally authorized for you will be given.

Note 3: With reference to the Zaibatsu company where you served as official or as a person accorded with the status of official, the following entries are additionally required.

a. Name and stock-holding percentage of stock-holders owning 10 per cent or more of the total stock of the company at the time of your assumption of office and retirement.

b. Name, position and dates of appointment and retirement of other officials of the company during the period when you served.

Dates of employment and retirement.	Name of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.

第五頁

十一、本人の役員就任當時その勤務した財閥會社と財閥又は財閥直系會社との間に役員としての就任についての事前承認を必要とする旨の取極の有無

（一）明文の取極の有無

無し

（二）本人の役員としての就任の事情の詳細、特にその就任につき財閥又は財閥直系會社が關與した事實の有無

富士電機の役員選任は會社創立の時を除いて社長、事務取締役及常務取締役が社員の古參者中特に功績のあつた者の內から候補者を銀選衡し之を重役會に諮つた後株主總會にかけるのを原則とし、この選定については古河財閥關係の何人からも何等の指示を受けたことはなく又その承認を求めた事實はありません。尚私の選任についても以上に從つたもので又私が個人として古河財閥關係の何人とも話合等したことは勿論ありません

本項に關する詳細な說明は非財閥關係役員承認申請書第二項中に詳記致しましたから御參照を御願ひ致します

Dates of employment and retirement.	Name of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.
SEPT.1918	ASHIO KOGYOSHO, FURUKAWA KOGYO KABUSHIKI KAISHA (ASHIO MINE, FURUKAWA MINING CO., LTD.)	STAFF	DESIGNING MINING MACHINES	MINING & REFINING ASHIO, TOCHIGI PREFECTURE
SEPT.1922	"	RETIRED FROM FURUKAWA MINING CO., LTD.		
SEPT.15, 1922	SIEMENS SCHUCKERT WERKE, A.G.	APPRENTICE		MANUFACTURERS OF ELECTRICAL MACHINERIES, BERLIN, GERMANY
SEPT.30, 1924	RETURNED HOME			
OCT.6, 1924	FUJI DENKI SEIZO KABUSHIKI KAISHA (FUJI ELECTRIC MANUFACTURING CO., LTD.)	STAFF	(DESIGNING SWITCH BOARD APPARATUS)	MANUFACTURE & SALE ELECTRIC APPLIANCES KAWASAKI
DEC.1, 1933	"	CHIEF OF SWITCH BOARD APPARATUS DESIGNING SECTION		
MAY25, 1935	"	CHIEF OF SWITCH BOARD DESIGNING SECTION OF MANUFACTURING DEPT. (SWITCH BOARD & SWITCH BOARD APPARATUS DESIGNING)		
JAN.1, 1936	"	CHIEF OF NO.2 MANUFACTURING SECTION OF MANUFACTURING DEPT. (MANUFACTURING SWITCH BOARD AND SWITCH BOARD APPARATUS)		
AUG.20, 1936	"	ADDITIONALLY CHIEF OF ELECTRICAL PARTS DIVISION OF INSPECTION SECTION (INSPECTION OF ELECTRICAL PARTS, PRINCIPALLY		

Dates of employment and retirement.	Name of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.
SEPT.1918	ASHIO KOGYOSHO, FURUKAWA KOGYO KABUSHIKI KAISHA (ASHIO MINE, FURUKAWA MINING CO.,LTD.)	STAFF	DESIGNING MINING MACHINES	MINING & REFINING ASHIO, TOCHIGI PREFECTURE
DEC.29, 1936	"		RELIEVED ELECTRICAL PARTS DIVISION OF INSPECTION SECTION	
APR.25, 1938	"		CHIEF OF NO.4 MANUFACTURING SECTION OF MANUFACTURING DEPT. AND ALSO CHIEF OF NO.2 MANUFACTURING SECTION (MANUFACTURING SEARCH-LIGHT, SWITCH BOARD AND SWITCH BOARD APPARATUS)	
MAY2,1939	"		CHIEF OF MANUFACTURING DEPT., ALSO CHIEF OF PRODUCTION SECTION (ESTIMATION, TAKING ORDER, DESIGNING, MANUFACTURING AND SHIPMENT OF ELECTRIC MOTORS, GENERATORS, TRANSFORMERS, RECTIFIERS, SWITCH BOARD AND SWITCH BOARD APPARATUS AND ALSO MANUFACTURING SEARCHLIGHT)	
MAY1,1940	"		CHIEF OF MANUFACTURING DEPT. AND ALSO CHIEF OF JOMU SECTION (DUTY UNCHANGED)	
NOV.7,1940	"		DIRECTOR (ATTENDING CHIEFLY PRODUCTION SIDE)	
JULY 1,1941	"		ALSO CHIEFS OF MANUFACTURING AND TECHNICAL DEPTS(THE FORMER MANUFACTURING DEPT. IS NOW DIVIDED INTO MANUFACTURING AND DESIGNING, MY DUTY BEING UNCHANGED)	
AUG.31,1942	"		DIRECTOR AND CHIEF OF TECHNICAL DEPT. (ESTIMATION, TAKING ORDER, DESIGNING AND TESTING OF MOTORS, GENERATORS, TRANSFORMERS, RECTIFIERS, SWITCH BOARD AND SWITCH BOARD APPARATUS)	
NOV.6,1942	"		MANAGING DIRECTOR (CHIEFLY IN CHARGE OF RESEARCH AND DESIGNING)	
DEC.31,1942	FUJI KOKI KABUSHIKI KAISHA (FUJI OPTICAL INSTRUMENT CO.,LTD.)		DIRECTOR(NO SPECIAL ASSIGNMENT OF DUTIES)	MANUFACTURE AND SALES OF OPTICAL INSTRUMENTS

Dates of employment and retirement.	Name of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel	Duties and powers (in:detail).	Substance of business of organization or company where you served and
MAY 4,1943	FUJI ELECTRIC MFG. CO.,LTD.	ADDITIONALLY CHIEF OF NO.1 DESIGNING DEPT.(DESIGNING AND TESTING OF MOTORS,GENERATORS, TRANSFORMERS,RECTIFIERS,SWITCH BOARD AND SWITCH BOARD APPARATUS)		TOKYO
JULY3,1942	FUJI DENKI KOSHO (FUJI ELECTRIC WORKS,LTD.)	DIRECTOR(IN CHARGE OF NOTHING SPECIAL)	MANUFACTURE AND SALES OF ELECTRIC APPLIANCES, MUKDEN, MANCHURIA	
MAR.6,1944	"	DIRECTOR PRESIDENT (ACTUAL SUPERVISION WAS DONE BY GENERAL MANAGING DIRECTOR NIYORI WHO WAS STATIONED AT MUKDEN, I REMAINED IN TOKYO.)		
JULY15,1944	FUJI ELECTRIC MFG. CO.,LTD.	ADDITIONALLY CHIEF OF NO.2 DESIGNING DEPT.(DESIGNING OF PRECISION MACHINES)		
OCT.19,1945	"	RELIEVED OF CHIEFS OF NO.1AND NO.2 DESIGNING DEPT.		
DEC.26,1945	RESIGNED DIRECTOR FUJI OPTICAL INSTRUMENT CO., LTD.			
SEP.20,1946	ASSOCIATION FOR UTILIZATION OF ELECTRICAL TECHNICS FOR PRACTICAL PURPOSES	DIRECTOR (ATTENDED MEETINGS ONLY)	EXECUTION OF PATENTS & INSTRUCTION, COOPERATION AND INDUSTRIALIZATION OF ELECTRICAL TECHNICS	TOKYO
FEB.10,1947	RESIGNED DIRECTOR PRESIDENT OF FUJI ELECTRIC WORKS,LTD.			
MAR.1,1947	COMMITTEE OF ELECTRICAL DIVISION OF THE ASSOCIATION OF MECHANICAL INDUSTRY	(ATTENDED	TO INVESTIGATE	

Dates of employment and retirement.	Name of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary	Duties and powers (in:detail).	Substance of business of organization or company where you
				TOKYO
MAY 4.1943	FUJI ELECTRIC MFG. CO.,LTD.			
			MEETINGS ONLY)	AND DELIBERATE ON IMPORTANT MATTERS OF TECHNICAL RESEARCH OF MECHANICAL INDUSTRY AT THE REQUEST OF COMMERCE AND INDUSTRY MINISTER TOKYO
OCT.,1947	AGRICULTURE MECHANISING ASSOCIATION	DIRECTOR	(ATTENDED MEETINGS ONLY)	TO ACCELERATE MECHANISATION OF AGRICUITURE AND ADVANCEMENT OF AGRICULTURAL MACHINE INDUSTRY TOKYO

STATEMENT IN CONNECTION WITH NOTE 3 OF QUESTION 10 (CHRONOLOGICAL RECORD OF PROFESSION AND EMPLOYMENT)

ON PAGE 4.

(a) NAME AND STOCK-HOLDING PERCENTAGE OF STOCK-HOLDERS OWING 10 PERCENT OR MORE OF THE TOTAL STOCK OF THE FUJI ELECTRIC MANUFACTURING CO.,LTD. AT THE TIME OF MY ASSUMPTION OF OFFICE AS ITS OFFICIAL;

FURUKAWA DENKI KOGYO KABUSHIKI KAISHA
(FURUKAWA ELECTRIC CO.,LTD.) 36.6% (183,386 SHARES)

SIEMENS SCHUCKERTWERKE,A.G. 22.4% (112,125 SHARES)

(b) NAME,POSITION AND DATES OF APPOINTMENT AND RETIREMENT OF OTHER OFFICIALS OF THE FUJI ELECTRIC MANUFACTURING CO.,LTD. DURING THE PERIOD I HAVE SERVED AS

Dates of employment and retirement.	Name of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary	Duties and powers (in:detail).	Substance of business of organization or company where you

ITS OFFICIAL;

NAMES	POSITIONS		DATES OF APPOINTMENT	DATES OF RETIREMENT
WASAKU NATORI	AUDITOR		NOV.29,1934	
BERNHARD MOHR	DIRECTOR		AUG.22,1923	
MANJIRO YOSHIMURA	DIRECTOR	PRESIDENT	MAY27,1931	Nov.27,1945
"	DIRECTOR		NOV.27,1945	DEC.12,1947
SUEKICHI NAKAGAWA	AUDITOR		AUG.22,1923	DEC.23,1946
HERMAN REYSS	DIRECTOR		MAY27,1925	NOV.12,1945
WILLY ZEDERBOHM	DIRECTOR		JUN.16,1928	FEB.15,1944
TSUNESUKE WADA	GENERAL MANAGING DIRECTOR		NOV.7,1940	NOV.7,1945
"	DIRECTOR	PRESIDENT	NOV.27,1945	
HEINRICH VON BUOL	AUDITOR		NOV.30,1932	NOV.12,1945
ISUZU SUGIMOTO	DIRECTOR		NOV.29,1934	MAY 8,1944
TETSUSHIRO NAKAMIGAWA	MANAGING DIRECTOR		NOV.7,1940	DEC.12,1947
TETSUSHIRO NAKAMIGAWA	AUDITOR		DEC.12,1947	
BENSHIRO KITAMURA	DIRECTOR		NOV.29,1933	NOV.12,1945
TSUNAJIRO NOMURA	MANAGING DIRECTOR		NOV.7,1940	NOV.6,1942
KICHIHEI ADACHI	MANAGING DIRECTOR		NOV 7,1940	NOV.29,1945
"	DIRECTOR		NOV.29,1940	MAY 3,1946
HYOJIRO KASUGA	DIRECTOR		MAY 7,1943	MAR.23,1947
JUUJUN FURUKAWA	DIRECTOR		MAY 9,1944	NOV.12,1945
SHIZUKA NAGATA	DIRECTOR		MAY9,1944	MAY 4,1946
"	MANAGING DIRECTOR		MAY 4,1946	
SEIICHI ROKUSHO	DIRECTOR		MAY25,1946	DEC.12,1947
KINJIRO SHIMASUE	DIRECTOR		MAY25,1946	
JUNZO KATAYAMA	DIRECTOR		"	
TEINOSUKE YOSHIDA	"		"	
MAKOTO OTOMI	"		DEC.12,1947	
SHICHINOSHIN MAEDA	"		"	
MASUHIKO KANARI	"		"	

古河

769

APPROVED may 17 1948
承　認　昭和23年5月17日

APPLICATION FOR APPROVAL

AS

NON-ZAIBATSU OFFICIAL

Misao Ueda

YUKICHI ASADA

MANAGING DIRECTOR

OF

FUJI DENKI SEIZO KABUSHIKI KAISHA

(FUJI ELECTRIC MFG. CO., LTD.)

Tokyo, February 5, 1948.

To the Prime Minister:

APPLICATION FOR APPROVAL AS NON-ZAIBATSU OFFICIAL

In accordance with Article 7, Paragraph 1, of the Zaibatsu Family Control Exclusion Law, I, Yukichi Asada, Managing Director of the Fuji Denki Seizo Kabushiki Kaisha (Fuji Electric Manufacturing Co., Ltd.), submit this statement for your approval of me as non-Zaibatsu official.

I.

There is nothing in my case to fall under Item I.

In reference to the copy of my census register (Exhibit 1) I describe my family relations.

Father:

Jinemon Asada IV, deceased.

Born and permanently domiciled at 1 Honchodori 2-chome, Nakano Ward, Tokyo.

Flour milling and beer brewery.

Mother:

Shizu Asada, deceased.

Permanently domiciled at Aza Shimoyasumatsu, Matsui-mura, Irimagun, Saitama Prefecture.

Eldest daughter of Shinsuke Moroboshi.

Elder brother:

Jinemon Asada V, deceased.

Permanent domicile: same as father's.

Flour milling and banking.

Wife of above:

Michiko Asada.

Permanently domiciled at 1 Ginza 3-chome, Kyobashi Ward, Tokyo.

Second daughter of Daizaburo Saegusa. Importer.

Elder sister:

Iki Asada.

Wife of Masakichi Asada III, deceased, soy-maker.

Elder sister:

Sei Suzuki

Wife of Tsunesaburo Suzuki, deceased, business man,

Nakatsumachi, Oita Prefecture.

Wife:

Shizu Asada.

Second daughter of Bungoro Aikawa VII.

Wifes father:

Bungoro Aikawa VII, deceased.

Permanently domiciled at Mutsuura-machi, Isogo Ward,

Yokohama, Kanagawa Prefecture.

Forester.

Wife's mother:

Sei Uchida.

Atsugi, Kanagawa Prefecture.

Second daughter of Masakichi Uchida,

Agriculturist.

Wife's elder brother:

Ken-ichiro Aikawa.

Wife's younger brother:

Minoru Aikawa.

Employee of Teikoku Bank.

Wife's younger brother:

Bungoro Aikawa.

Wife's younger brother:

Takasuke Aikawa.

Chief, Economic Section, Nippon Men-i Kodan (Japan Cotton

Textiles Corporation.)

Wife's younger brother:

Yukio Aikawa.

Forester.

Wife's elder sister:

Humi Iwaki

Wife of Viscount Takanori Iwaki.

Younger sister:

Aya Akabane.

Wife of Yasuo Akabane,

President, Sansho Precision Instruments Co.

Younger sister:

Miyoko Shimizu.

Wife of Sadayuki Shimizu.

Younger sister:

Masu Itani.

Wife of Nobuo Itani, Secretary, Commerce-Industry Ministry, Osaka.

II.

I was elected to the board of director in November, 1940, and to the managing directorship in 1942. In both of these elections no instruction or approval was given by the Furukawa Zaibatsu, the Furukawa Mining Company, a Zaibatsu concern, or the Furukawa Denki Kogyo Kabushiki Kaisha (Furukawa Electric Co., Ltd.), a sub-Zaibatsu concern. For the sake of elucidation I submit below the data as to the connection between the Fuji Denki and the Furukawas.

The Furukawa Denki Kogyo had a cherished desire to set up an institution for the manufacture of electrical appliances in order to secure a market for electric wire, the Furukawa Denki's manufacture. Negotiations with Siemens Schukert Werke A.G. of Germany, consummated in a contract for taking in the engineering technics, but the project of forming a new company was abolished owing to financial and other

difficulties. Mr. Wasaku Natori, who became later the first President of the Fuji Denki, upon learning of this matter, felt it to be very regrettable for the Japanese industry and the development of the manufacture of electrical appliances in this country. He negotiated with the Furukawa Denki Kogyo and followed up the project with his own credit and effort, until in August, 1923, a new company was set up under the name of Fuji Denki.

Such being the case, if there had been any connection between the Fuji Denki and the Furukawas, it would have been with the Furukawa Electric Co., Ltd., a sub-Zaibatsu concern, not with the Furukawa Mining Company, a Zaibatsu concern. The Furukawas have held the one third of the stock of the Fuji Denki since the formation of the company; the officials of the company at the time of formation are set forth elsewhere, it will be clear that since the formation of the company the personnel and administration of the company has not been under the Furukawas' control. Of 829 stock-holders, the principal ones were as follows, as of October 31st, 1923. The holding ofthe Furukawas is not large enough to exercise Furukawas' will over the affairs of the company.

Siemens Schuckert Werke, A.G.	45,000 Shares
(including shares possessed under others' name)	
Furukawa Denki Kogyo	25,000
(Furukawa Electric Co., Ltd.)	
Toranosuke Furukawa	20,000
Siemens Halske	15,000
Wasaku Natori	10,300
Suekichi Nakagawa	5,300
Manjiro Yoshimura	5,300
Bunjiro Konda	5,200
Japan Conscription Insurance Co.	2,500

Tatsunosuke Kawashima	2,000 Shares
Tetsushiro Nakamigawa	2,000
Daido Life Insurance Co.	1,500
Hirooka Gomei Kaisha	1,500
Saburo Jinen	1,500
Kikuo Aoki	1,500
Kazuo Funada	1,000
Den-emon Ito	1,000
Kawasaki Dockyard	1,000
Nobuyo Masuda	1,000
Ichizo Mitani	1,000
Kazuchika Okura	1,000
Shibusawa Family Corporation	1,000

The first board of directors was decided upon by the free will of Mr. Wasaku Natori; not one member of the board was elected at the Furukawas' request and against Mr. Natori's will. The nine members of the first board included five Japanese and four German engineers from Siemens. Mr. Suekichi Nakagawa, Auditor, came from the Furukawa Electric Co., Ltd. Mr. Manjiro Yoshimura, who was regarded as a Furukawa man, was put on the board by Mr. Natori personally. In the light of the voting power of the stockholders and the ability and credit of Mr. Natori, the Furukawas had and actually exercised no power over the affairs of the Fuji Denki. The Fuji Denki could act by itself. From September, 1922, I spent two years in Germany at my own expense, studying the manufacture of electrical appliances at Siemens Schuckert. In 1923, the Fuji Denki was set up; in November, 1924, I entered the Fuji Denki to take partial charge of the designing switch board appliances. I thereafter held the positions, of division chief, section chief and department chief with respect to engineering. At the general meeting

of stockholders held in November, 1940, I was elected director. Up to that time, I had spent seventeen years in hard work for the company which had to surmount many difficulties as a new undertaking.

I believe that my election to the directorate was the reward for the good showing of my continual hard work for many years and for experience thus acquired. In connection with my election, there were no understanding obtained from the Furukawas, no special conditions or agreements. In working with the Fuji Denki, I had no restriction or instruction for the promotion of the Furukawas' interest. Naturally, I had no occasion to work specifically for the interests of the Furukawas.

As is clear from the attached list of positions (Exhibit 2), I was chief of the manufacturing department and concurrently chief of the general affairs section; as I was the engineer of the first order, I feel that my election to the directorate was a just reward. From this point, also, it is clear that I was elected not as the representative of the interests of the Furukawas.

III.

In November, 1942, I was elected managing-director. At that time, there were two other managing directors, Mr. Tetsushiro Nakamigawa and Mr. Kichihei Adachi. The former was concurrently the Chief of the Tokyo Sales Office; the latter was in charge of Manufacture; and I, having a concurrent position as chief of the department of designing and planning, was in charge of the engineering matters. In October, 1945, I was relieved of my concurrent engineering position. In May, 1946, Mr. Shizuka Nagata was elected managing director in charge of finance. Mr. Nakamigawa resigned as managing director in December, 1947.

In the Fuji Denki, managing directors had a circular conference to suggest an action for the president's approval (Exhibit 3. Summary of Procedure of Circular Conferences), or the board of directors could act with the president's approval. A managing director therefore, had no authority equal to or superior to the president's, and as a matter of fact could not and did not act by the president's authority. This point is made clear by the foregoing list of the division of work. As a managing director, I was no exception. In letter and in spirit, the president had a final and full power in the affairs of the company. This ruling has been strictly adhered to all these years.

The Articles of Association (Exhibit 4) provides that the president is the sole representative of the company as to outside parties, and that managing directors have no authority to represent the company.

IV.

Since my election as managing director, I had no concurrent positions with the Furukawas' concerns. My answer to the questionnaire makes this clear.

Before, during, and after the war, and before and after my election to the directorate, I had no occasion to be instructed by or to ask the approval of the Furukawas, and I had no occasion to infringe the items of Article 7, Paragraph 1, of the Zaibatsu Family Control Exclusion Law. It is improper that I be regarded as a Furukawa Zaibatsu official.

I solicit your good office to approve me as a non-Zaibatsu official.

Respectfully yours,

Yukichi Asada

Yukichi Asada

古河

769

APPENDIX TO

APPLICATION FOR APPROVAL AS

NON-ZAIBATSU OFFICIAL

YUKICHI ASADA

MANAGING DIRECTOR

OF

FUJI DENKI SEIZO KABUSHIKI KAISHA

(FUJI ELECTRIC MFG. CO., LTD.)

CONTENTS

I CERTIFICATE FROM FURUKAWA KOGYO KABUSHIKI KAISHA.
(FURUKAWA MINING CO., LTD.)

I CERTIFICATE FROM FURUKAWA DENKI KOGYO KABUSHIKI KAISHA.
(FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD.)

I COPY OF CENSUS REGISTER (EXHIBIT I)

I HOLDERS OF PRINCIPAL POSITIONS OF THE COMPANY AT THE TIME OF ASSUMPTION IN OFFICE AS DIRECTOR. (EXHIBIT 2)

I SUMMARY ON PROCEDURES FOR CIRCULAR CONFERENCE (EXHIBIT 3)

I ARTICLES OF ASSOCIATION OF FUJI DENKI SEIZO KABUSHIKI KAISHA. (EXHIBIT 4)

I LIST OF ALL OFFICIALS OF FUJI DENKI SEIZO KABUSHIKI KAISHA.

To

Mr. Yukichi Asada

Managing Director of

Fuji Denki Seizo Kabushiki Kaisha

CERTIFICATE

We hereby affirm that we have never given instruction nor have interfered in the selection of the officials of your company, the matter being duly attended to inside your company and that your election to your office was made in due order and not by our sending you to assume your post.

Tokyo, January 20th. 1948.

Signed : Eiichi Shinkai

Representative Director,

Furukawa Kogyo Kabushiki Kaisha

(Furukawa Mining Co., Ltd.)

To

Mr. Yukichi Asada

Managing Director of

Fuji Denki Seizo Kabushiki Kaisha

Certificate

We hereby certify that there exists no fact that we have ever participated in the election of officials of your company, that, as to your assumption of office of official of Fuji Denki Seizo Kabushiki Kaisha any approval or understanding has been neither made by us nor been requested before or after that assumption, and that you have not assumed office of official as being dispatched by us.

Tokyo, January 20th 1948.

K. Nishimura

Signed : Keizo Nishimura

Director President

of

Furukawa Denki Kogyo Kabushiki Kaisha.

(Furukawa Electric Co., Ltd.)

Exhibit I

Copy of Substance Census Register of Yukichi Asada

Permanent address	No.2 Ueno-hara-machi, Nakano-ku, Tokyo-to.
Head of household	Yukichi Asada
Born	On November 26th 1894
Father Mother	Jinemon Asada, deceased Shizu Asada } third son

Report was accepted on August 20th, 1920, that he married Shizu Aikawa.

Reported that he set up a branch family as younger brother of Jinemon Asada, household head, at No.4189 Nakano-machi, Toyotama-gun, and accepted on December 17th, 1929.

Wife	Shizu
Born	On February 28th, 1900
Father Mother	Bungoro Aikawa Sei } Second daughter

Reported that she, second daughter of Bungoro Aikawa, household head, at No. 1656, Rokuura so-mura, Kuraki-gun, Kanagawa-ken, married Yukichi Asada, and registered in census register of Yukichi Asada on August 20th 1920.

She set up a branch family with Yukichi, husband on December 17th 1929, and registered in census register at the same time.

Exhibit I

Copy of Substance Census Register of
Yukichi Asada

Permanent address	No.2 Ueno-hara-machi, Nakano-ku, Tokyo-to.
Head of household	Yukichi Asada
Born	On November 26th 1894
Father Mother	Jinemon Asada, deceased Shizu Asada } third son
Report was accepted on August 20th, 1920, that he married Shizu Aikawa. Reported that he set up a branch family as younger brother of Jinemon Asada, household head, at No.4189 Nakano-machi, Toyotama-gun, and accepted on December 17th, 1929.	
Wife	Shizu
Born	On February 28th, 1900
Father Mother	Bungoro Aikawa Sei } Second daughter
Reported that she, second daughter of Bungoro Aikawa, household head, at No. 1656, Rokuura so-mura, Kuraki-gun, Kanagawa-ken, married Yukichi Asada, and registered in census register of Yukichi Asada on August 20th 1920. She set up a branch family with Yukichi, husband on December 17th 1929, and registered in census register at the same time.	

First son	Shinichi
Born	On June 25th, 1930.
Father Mother	Yukichi Asada Shizu } first son

I certify that this copy is identical with the original of the census register,

Tokyo, January 20th, 1948

Goro Minakawa

Chief of, Nakano-ward, Tokyo-to.

Exhibit 2

HOLDERS OF PRINCIPAL POSITIONS IN THE COMAPNY

AT THE TIME OF MY ASSUMPTION IN

OFFICE AS DIRECTOR

Director-President	:	Manjiro Yoshimura
General Managing-Director	:	Tsunesuke Wada
Managing-Director	:	Tsunajiro Nomura
" "	:	Tetsushiro Nakamigawa
" "	:	Kichihei Adachi
Director	:	Isuzu Sugimoto
"	:	Bernhard Mohr
"	:	Herman Reyss
"	:	Willy Zederbohm
Auditor	:	Suekichi Nakagawa
"	:	Wasaku Hatori
"	:	Heinrich von Buol
Advisor	:	Hidekitsu Ishii
"	:	Hideo Kajiyama
"	:	Sukefuyu Yanagisawa
Councillor	:	Yoshio Kawino
"	:	Michiharu Yokoo
"	:	Makoto Tsujii
"	:	Tateo Satachi
"	:	Bungo Miyajima

(Con't.)

Chief of Sales Business Department	:	Kazuma Sugase
Manager of Osaka Sales Office	:	Bungo Miyajima
Manager of Moji Branch Office	:	Tamotsu Senda
Manager of Nagoya Branch Office	:	Sukemitsu Ogawa
Manager of Keijo Branch Office	:	Heijiro Kurauchi
Manager of Taihoku Branch Office	:	Tetsushin Otsubo
Acting Chief of General Affairs	:	Hideo Takenouchi
Chief of Manufacturing Department (concur)	:	Yukichi Asada
Chief of Precision Machine Department	:	Hyojiro Kasaga
Acting Chief of Weak Current Department	:	Wagoro Kuroiwa
Chief of Army Inspection Section	:	Makoto Tsujii
Acting Chief of Naval Inspection Section	:	Mitsunobu Ito
Chief of Purchasing Department	:	Yasaburo Oizumi
Chief of Merchandise Department	:	Shizuka Nagata
Chief of Laboratory Department	:	Tateo Satachi
Chief of Personnel Section	:	Takeo Nakai

Exhibit 3

SUMMARY ON PROCEDURES FOR
CIRCULAR CONFERENCE

1) The followings are matters for circular conference and the sections, divisions, factories, etc. wishing to carry out their plans are to submit circular conference documents and obtain the approval of the Board of Executive Directors.

(1) For acquisition, repair and disposal of property in each case where the amount is over ¥ 2,000.

(2) For operation costs outside the budget where amount per item exceed ¥ 1,000.

(3) For all especially important contracts concluded externally (including also business contracts).

(4) For entry and resignation to and from all engineering institutes, associations and other external societies.

(5) For disposal of miscellaneous losses where amount per item exceed ¥ 1,000.

(6) For transfer of personnel, change and abolishment of wages, personnel and regulations.

(7) For other matters which are considered necessary to be put forward.

2) For submitting to the circular conference, the proper forms to be used.

3) When the matter for the circular conference has some relation to matter under the jurisdiction of other sections or divisions, the section or division to submit their proposal after consulting with the corresponding section or division.

4) Circular conference applications (together with accompanying documents) to be submitted in trip-licate to Document Branch, General Affairs Division, Management Section, Head Office.

(1) Name of section, division or factory submitting the proposal.

(2) Name of the proposal.

(3) Items for which approval is to be obtained.

(4) Reasons for submitting the plan.

(5) When monetary amounts are involved, to describe approximately the amount and its break down. In making the plan, items that have been of reference to be mentioned and further referential material to be attached.

5) The Document Branch, General Affairs Division, upon receipt of a circular conference application, to promptly apply for an investigation.

6) When corrections are to be made in the circular conference application, the person who makes the corrections to do it with a pen or Japanese brush and to put his seal on the corrected points.

7) The approved circular conference documents will be registered at the Document Branch, General Affairs Division, as to their date of approval, circular conference number, name of section, division or factory submitting the plan, name of the matter and other necessary particulars in the circular conference ledger and stamp a mark of approval and circular conference number on the circular conference document keeping one copy in their hands and forwarding one copy to the section, division or factory submitting the proposal and one copy to the acountant division (when no monetary amounts are involved, this is omitted).

8) Approved matters unless in cases where there are special reasons, are to be promptly carried out.

9) When the above plans are completed, reports to this effect are to be made without fail. Further, in cases where the matter takes a long time, due reports on the state of progress to be made.

10) When it is not possible to carry out the approved projects or when they are cancelled on account of changes, in the circumstances, a cancellation circular conference document to be submitted.

11) The above cancellation circular conference document to be written all in red and moreover the approved number of circular conference and date of approval to be mentioned.

Note:

In October of 1947 the amounts in Items numbers one, two and three of clause No.1 were revised as follows:

Item One : from ¥ 2,000 to ¥ 10,000.-

Items Two and Three : from ¥ 1,000 to ¥ 5,000

Exhibit 4

Articles of Association

of

Fuji Denki Seizo Kabushiki Kaisha

(Fuji Electric Mfg. Co., Ltd.)

Chapter 1. General Rules

Art. 1 - Art. 5.

Chapter 2. Shares

Art. 6 - Art. 15.

Chapter 3. Shareholders' general Meeting

Art. 16 - Art. 20.

Chapter 4. Directors and Auditors

Art. 21 - Art. 25.

Chapter 5. Settlement of Account

Art. 26 - Art. 28.

Appendix

Art. 29

Chapter 1. General Rules.

Art. 1. The company shall be named "Fuji Denki Seizo Kabushiki Kaisha."

Art. 2. The company shall engage in the undermentioned undertakings:

1) Manufacturing, importation and sale of electrical and other machines and apparatuses.

2) Repairing and sale of apparatuses for weights and measures and manufacturing, repairing and sale of measuring instruments.

3) Investment, contract business, agency and sale in undertakings related to those which are mentioned in the above items, as well as all businesses necessary to the above items.

Art. 3. The company shall fix its main office in No.1, Tanabe-shinden, Kawasaki-City, Kanagawa-ken.

Art. 4. The capital of the company is Yen 50,000,000.- .

Art. 5. The company shall place its public notice in the Nippon Keizai Shimbun issued in Tokyo-to.

Chapter 2. Shares

Art. 6. The capital of the company shall be divided into 1,000,000 shares of 50 Yen each.

Art. 7. The share-certificate of the company shall be all named and consist of the five kinds i.e. 1, 10, 50, 100 and 1,000 shares.

Art. 8. For the alteration of the shareholder's name owing to the transfer of shares by indorsement of the share-certificate or by other ways the prescribed form of application shall be presented to the company together with the share-certificate.

The party who has obtained the share through succession, amalgamation or other legal causes shall apply for the alteration of the name registry by presenting the prescribed form of application to that effect together with each one copy of the census register, and the commercial register, and other documentary evidence deemed necessary by the company shall be presented.

Art. 9. For the registry of a share as an object of the right of pledge or for the cancellation of the registry on account of the lapse of the right of pledge the prescribed form of application shall be presented to the company together with the share certificate.

Art. 10. The application for the delivery of a new share-certificate due to the damage or the devision of the owned stock shall be made by presenting the share-certificate together with the prescribed form containing the statement of the circumstances.

Art. 11. The application for the delivery of a new shares certificate due to the loss shall be made by presenting the prescribed form of application containing the circumstances together with the documents proving the fact that the invalidation has been given.

Art. 12. The fee for alteration of the shareholder's name and other fees will be determined separately.

Art. 13. The company may refuse the alteration of the shareholder's name and the creation of the right of pledge or the cancellation thereof during the period from April 16th or October 16th to the last day of the shareholders' regular general meeting.

Art. 14. A shareholder, share-pledger or this statutory agent shall report to the company his name, address and present 2 copies of his seals and report their change at each time as it will occur. A foreigner can however sign instead of affixing a seal.

A shareholder, share-pledger or his statutory agent residing abroad or in a place situated in such a long distance as there is a fear that the notice document dispatched by the company may delay shall appoint a provisional domicile or a representative in Japan and report it to the company. A change in these respects shall be reported.

Art. 15. A shareholder neglecting the payment of the share instalment shall be charged an interest for delay at the rate of 4 sen per ¥ 100.- per day from the day following the due date and hold liable for the expenses and other damage caused by such a delay.

Chapter 3. Shareholders' general meeting.

Art. 16. The regular shareholders' ~~meeting~~ general meeting shall be held annually and in May and November.

Art. 17. The chairmanship of the shareholders' general meeting shall be assumed by the president of the company. In case the president is prevented, other directors shall take his place.

Art. 18. In case a shareholder intends to vote by representation he shall nominate another shareholder of the company to represent him.

Art. 19. A summary of the proceedings of the general meeting of shareholders and the result thereof shall be entered into the minute book which will be preserved after the signature and sealing of the chairman as well as the directors, auditors and one shareholder who attended the meeting.

Art. 20. The resolution of the shareholders' general meeting are to be determined by a majority of the shareholders' votes present unless otherwise specified by law. In the case the number of votes for and against are equal, the chairman is to decide.

Chapter 4. The directors and the auditors.

Art. 21. The number of the directors shall not exceed 12.
The number of the auditors shall not exceed 5.

Art. 22. Tenure of office ends for the directors at the end of the 6th shareholders' ordinary general meeting and for the auditors at the 4th shareholders' ordinary general meeting. For those directors or auditors elected in the interval, the tenure of office ends simultaneously with the directors' and auditors' regularly elected.

As long as the deficiency created in the number of the directors or the auditors does not interfere with the legally provided number, the election for filling the deficiency may be postponed.

Art. 23. A director can be a partner with unlimited liability or a director of another company who carries on the same business as the company in case the board of directors has given her consent to it.

Art. 24. One president and general managing director each and up to three managing directors are selected by mutual election. However the positions of general managing director and managing directors can remain vacant.

Art. 25. The president represents the company, assumes chairmanship at the directors' conference and controls the entire management of the company.

The general managing director assists the president in the management of the company and assumes acting presidency in case the president is prevented from attending to his office.

Chapter 5. Settlement of Account

Art. 26. March 31st and September 30th shall be settlement days of the company.

Art. 27. The net profit shall be calculated by deducting from the gross profit of each settlement term the various expense items, the losses and the depreciation of fixed assets of more than 6% p.a. The net profit shall be disposed in the following order upon adding the amount, transferred from the previous term:

1) For the legal reserve fund: more than 5% of the net profit

2) For the bonus for directors and auditors: A sum not exceeding 10% of the net profit upon deducting the abovementioned amount.

3) For the dividend:

4) For the various reserve funds: They can be omitted according to the calculation.

5) To be carried over to the next term:

Besides the abovementioned items the bonus and others which are regulated by the laws and ordinances can be added to the disposal of the net profit.

Art. 28. The dividend shall be paid to the shareholders whose names are on the shareholders registry on April 16th or October 16th.

The failure to demand the payment of the dividend within one year from the moment of the decision at the shareholders' general meeting shall absolve the company from the liability of the payment.

The Appendix.

Art. 29. The company can manage the items which are regulated by the Imperial ordinance in accordance with the regulation of Art. 4 of the Law of extraordinary management of companies, etc. not according to the resolutions of the shareholders' general meeting:

LIST OF ALL OFFICIALS

Name	Position	Date of Appointment	Date of Retirement	Remarks
Wasaku Natori	Director president	Aug. 22, 1923		First president no connection with Furukawa
	Consultant	May 27, 1931	Nov. 29, 1934	
	Auditor	Nov. 29, 1934		
Bernhard Mohr	Director	Aug. 22, 1923		Siemens' representative, technician
Emill O. Kieffer	Director	Aug. 22, 1923	June 16, 1928	"
Hellman Kessler	Director	"	May 27, 1939	"
Manjiro Yoshimura	Director	"		Connected with Furukawa Mining
	president	May 27, 1931		Co. assumed office
	Director	Nov. 27, 1945	Dec. 12, 1947	because of, Mr. Natoris alumnus
Hideo Kajiyama	Director Managing director	Aug. 22, 1923 May 25, 1935	Nov. 6, 1940	Technician, studied with Siemens, now direbtor at Tokyo Shibaura Electric.
Adolf Franke	Auditor	Aug. 22, 1923	Nov. 30, 1932	Siemens' representative.
Washitaro Nagashima	"	"	Nov. 29, 1934	Doctor of law, lawyer, Mr.Natori's friend.
Suekichi Nakagawa	"	"	Dec. 28, 1946	Connected with Furukawa Electric.
Herman Reyss	Director	May 27, 1925	Nov. 12, 1945	Siemens' representative, technician.
Willy Zederbohm	"	July 16, 1928	Feb. 15, 1944	"

Tsunesuke Wada	Director	May 27, 1931		Former employee
	Managing director	May 25, 1935		
	General managing director	Nov. 7, 1940		
	Director president	Nov. 27, 1945		
Heinrich Von Buol	Auditor	Nov. 30, 1932	Nov. 12, 1945	Siemens' connection
Isuzu Sugimoto	Director	Nov. 29, 1934	May 8, 1944	Connected with Furukawa Denki Kogyo, technician
Tetsushiro Nakamigawa	Director	"		Technician, former employee.
	Managing director	Nov. 7, 1940		
	Auditor	Dec. 12, 1947		
Benshiro Kitamura	Director	Nov. 29, 1938	Nov. 12, 1945	"
Tsunajiro Nomura	Director	"		Former employee
	Managing director	Nov. 7, 1940	Nov. 6, 1942	
Sukefuyu Yanagisawa	Director	Nov. 30, 1939		Technician
Kichihei Adachi	Managing director	Nov. 7, 1940		Technician, former
	Director	Nov. 29, 1945	May 3, 1946	employee.
Yukichi Asada	Director	Nov. 7, 1940		"
	Managing director	Nov. 6, 1942		
Hyojiro Kasuga	Director	May 7, 1943	Mar. 23, 1947	"
Jujun Furukawa	Director	May 9, 1944	Nov. 12, 1945	Furukawa Zaibatsu
Shizuka Nagata	Director	"		Former employee
	Managing director	May 4, 1946		
Seiichi Rokusho	Director	May 25, 1946		Former employee
	Auditor	Dec. 12, 1947		

Kinjiro Shimasue	Director	May 25, 1946	Former employee
Junzo Katayama	"	"	technician
Teinosuke Yoshida	"	"	"
Makoto Otomi	"	Dec. 12, 1947	"
Hichinoshin Maeda	"	"	"
Masuhiko Kanari	"	"	Former employee

個人調査書

一、姓名（振假名をつけること）
ハマカワトモジウロウ
濱川友十郎

二、從來使用し又は一般に通用している他の名稱（通稱、筆名等）
なし

三、生年月日（年齡數え年）
明治三十六年一月十五日（五十六才）

四、出生地（都道府縣）
高知縣

五、現住所（略記しないこと）及び電話番號
横濱市神奈川區松ヶ丘七七番地（電話神奈川二六二番）

六、本籍地（略記しないこと）
横濱市神奈川區松ヶ丘七七番地

三菱

APPROVED Aug. 17 1948
承認 昭和23年8月17日

Misao Ueda.

NAME HAMAKAWA, Tomojuro

No. 56 Name of Company Mitsubishi Warehouse Co.Ltd.

個人調査書

（記載上の一般的注意）

一、本調査書は、三通提出しなければならない。

二、調査書は、日本文及び英文で記入する。その場合、英文記載事項は對應頁の日本文に照應するものとする。日英兩文間に相違がある場合は、英文によるものとする。

三、記載事項は、楷書（英文の場合は大文字活字體）で明瞭に記入しなければならない。

四、各記載事項は、空白のまゝにしないよう正確に且つ良心的に記入しなければならない。

五、各記載事項中該當事項のない場合は「該當しない」又は「該當事項なし」等の文句を用いて記入しなければならない。

六、記載すべき空欄に充分の餘白がない場合は、補助紙を用い、「補助紙に續く」等の字句を記入して、いずれの記載欄の補助紙として用いたかを明かにしなければならない。

七、この調査表の重要な事項について虚僞の記載をし又は事實をかくした記載をした者は、財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられる。

號 3 第 社會式株庫倉菱三

氏名 濵川友十郎

Questionnaire

1. Name (In full).

HAMAKAWA Tomojūrō

2. Other names which you have used or by which you have been known, (alias or penname).

none

3. Date of birtn (age).

Jan. 15, 1893. (56)

4. Place of birth (prefecture).

Kōchi prefecture.

5. Present address (in full) and telephone number.

No.77, Matsugaoka, Kanagawa-ku, Yokohama.
(Tel. Kanagawa 162)

6. Permanent address (in full).

No.77, Matsugaoka, Kanagawa-ku, Yokohama,

第二頁

七、現に保有し又は就こうとする財閥、制限、従属又は關係會社における役員としての地位

（一）會社の名稱及び財閥系統（昭和二十年九月二日以降稱號變更があつた場合は舊稱號を含む）

三菱倉庫株式會社　三菱系

（二）財閥會社、制限會社、従属會社又は關係會社の區分（財閥會社の場合には更に直系、準直系又は傍系の區分）

財閥直系會社、制限會社

（三）地位

常務取締役

（四）就任の豫定日

八、前項の他本人の保有するすべての身分及び職業

なし

九、財閥としての指定者との親族關係

（一）關係の有無及び有りとすればその詳細（財閥同籍者との親族關係を含む。）

なし

（二）指定者が指定された日において指定者と同一戸籍内にあつたことの有無

なし